

## 令和2年度 栄区個性ある区づくり推進費【自主企画事業費】一覧

(単位：千円)

事業計画書番号	事業名	2年度		元年度		増減(2-元)	
		総額	一財+市債	総額	一財+市債	総額	一財+市債
1	区役所運営事業	5,560	5,560	5,616	5,616	56	56
2	防災力向上事業	13,860	13,860	6,849	6,849	7,011	7,011
3	区政推進事業	25,520	24,795	25,226	24,613	294	182
4	広報・広聴事業	1,325	1,109	3,708	3,708	2,383	2,599
5	地域活動の推進・にぎわい振興事業	13,220	13,220	12,312	12,312	908	908
6	文化・芸術振興事業	5,431	5,286	6,277	6,142	846	856
7	スポーツ振興授業	3,180	3,180	3,380	3,380	200	200
8	地域の人材育成支援事業	3,713	3,713	4,860	4,860	1,147	1,147
9	福祉保健の推進	9,451	9,451	11,362	11,362	1,911	1,911
10	健康づくりと食育の推進事業	1,863	1,863	2,525	2,525	662	662
11	高齢者・障害者支援事業	15,220	7,145	15,180	7,567	40	422
12	健やか子育て応援事業	2,831	2,831	2,792	2,792	39	39
13	子ども・青少年応援事業	2,472	2,467	2,810	2,800	338	333



(様式3-1) 令和2年度 事業計画書【自主企画事業費】

[ 栄区 総務課 ]

No.	1
-----	---

予算区分	区役所総務費 区役所総務費 広聴広報相談費	性質・ 課題区 分	区庁舎・区民利用施設環境改善 窓口サービス向上 広報・広聴	事業開始年度	平成6年度
------	-----------------------------	-----------------	-------------------------------------	--------	-------

事業名	区役所運営事業
-----	---------

特記事項	中期計画-38の政策 中期計画-行政運営 中期計画-財政運営 重点事業 新規・拡充 温暖化対策関連事業
------	--

中期計画-38の政策	政策番号	主な施策番号

事業評価 書番号	1
事業評価 書番号	

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳				一般財源
		国・県	諸収入			
本年度	5,560					5,560
前年度	5,616					5,616
増減	56	0	0	0	0	56

歳出	平成28年度	平成29年度	平成30年度
予 算 事業費	10,575	6,020	4,220
メリット+一般財源	10,575	6,020	4,220
決 算 事業費	16,874	9,371	7,358
メリット+一般財源	16,874	9,371	7,358

歳出	令和3年度	令和4年度
予 算 事業費	5,560	5,560
一般財源	5,560	5,560

方針に関する決裁 種別( )  
有:件名( )、日付( 年 月 )  
無

事業の概要 (目的)	区民に信頼される区役所づくりのため、職員の人材育成研修などの窓口サービス向上を目指す取組や、快適な庁舎環境に向けた改修等を実施します。また、出生届及び婚姻届を提出するお客様に対して、区としてのお祝いメッセージ入りの記念品を配付し、窓口サービスの向上に努めます。 平成28年6月に公職選挙法の改正が行われ、選挙権年齢が18歳に引き下げられました。新たな有権者への選挙啓発に取り組むとともに、地域住民の協力を得ながら啓発を実施することで栄区の投票率向上を目指します。 栄区ならではの税の啓発物を作成し、現在実施している小学6年生を対象とした税の出前授業で活用するとともに、区民向けにも配布を行い、栄区や税を身近に感じてもらい、税の使い道により関心を持ってもらうことを目指します。
---------------	---

(説明)			
1 地域の課題等	栄区では、自ら考え行動し、区民の皆さまの視点に立ったおもてなしの行政サービスを提供できる区役所づくりを目指しています。正確・迅速な事務処理と親切・丁寧な窓口の運営を行うために、継続的な意識改革や能力の向上を目指した人材育成の取組を進める必要があります。栄区では、お客様への対応マニュアルである「スマイルガイド」を作成し、お客様に信頼される、満足度の高い区役所を目指しています。出生届を提出するお客様に対してはお子様の健やかな成長を、婚姻届を提出するお客様に対しては末永く幸せな明るい家庭を築いていただけるようお願いを込めたメッセージ入りの記念品を贈呈し、心かよう区役所窓口づくりに努めていきます。 平成28年6月に公職選挙法の改正が行われ選挙権年齢が18歳に引き下げられましたが、10代20代の投票率は低い状況にあります。将来の有権者を含めた広報を行うことで、将来を見据えた啓発を目指します。 税務関係機関(税務署、県税事務所、税理士会等)により協力して出前授業を実施していますが、授業内容及び教材が統一されており、横浜市栄区ならではの独自性はありません。栄区ならではの教材を活用し、栄区の小学生や区民に配布を行うことで、栄区を身近に感じてもらい、税の使い道から行政全体に関心を持ってもらうことを目指します。		
地域の課題等の収集手段	1 日常の窓口対応等	6 区民要望	7 関係団体からの要望
2 運営方針等との関係	目標達成に向けた組織運営 正確・迅速な事務手続きと親切・丁寧な対応		
3 根拠法令・要綱等	「横浜市区役所窓口サービス標準」「栄区政運営方針」「横浜市人材育成ビジョン」「栄区改革推進委員会設置要綱」		

【実績の推移・今後見込み】					
	28年度	29年度	30年度	元年度見込み	令和2年度見込み
人材育成研修	満足度調査 98.0%	満足度調査 100.0%	満足度調査 99.0%	満足度調査 100.0%	満足度調査 100.0%
改革推進委員会	2グループに分かれて活動 ・メンバーを中心とした区制30周年の盛り上げ活動	2グループに分かれて活動 ・メンバーを中心とした、区役所活性化の活動	2グループに分かれて活動 ・メンバーを中心とした、区役所活性化の活動	2グループに分かれて活動 ・メンバーを中心とした、区役所活性化の活動	2グループに分かれて活動 ・メンバーを中心とした、区役所活性化の活動
庁舎改善	フロアレイアウト変更、その他改修	フロアレイアウト変更、その他改修	フロアレイアウト変更、その他改修	フロアレイアウト変更、その他改修	フロアレイアウト変更、その他改修
SAKAE 早わかりノート	-	発行部数 2,500部	-	発行部数 2,500部(予定)	-

明るい選挙啓発事業	7月参議院選挙投票率 栄区全体: 60.27% (横浜市全体: 56.53%) 栄区10代投票率: 57.39%、 栄区20代投票率: 40.50% (横浜市全体 10代投票率: 56.56%)	7月横浜市長選挙投票率 栄区全体: 42.05% (横浜市全体: 37.21%) 栄区10代投票率: 32.71%、 栄区20代投票率: 21.79% (横浜市全体 10代投票率: 29.36%)	-	4月横浜市議会議員選挙投票率 栄区全体: 46.06% (横浜市全体: 42.48%) 栄区10代投票率: 35.25%、 栄区20代投票率: 23.67% (横浜市全体 の年代別投票率のデータは 未集計)	-
	栄区に提出された届出件数の推移	出生届 793件 婚姻届 458件	7月66件 477件	749件 414件	720件 (見込み) 430件 (見込み)
租税教育の充実事業	出前授業 6回 集計なし	出前授業 6回 総受講数291名	出前授業 6回 総受講数289名	出前授業 6回 (見込み) 総受講数300名 (見込み)	出前授業 6回 (見込み) 総受講数300名 (見込み)

【実施内容】

- 1 栄区人材育成研修事業 (1,389千円)  
職員の接遇力向上、人権意識の向上、区役所全体のチーム力向上を目的として、以下の研修を実施します。
  - (1) 接遇研修  
窓口サービスにおける接遇について、これまで高い評価をいただいていることに感謝し、高齢者や障害者の方など、誰もが安心して来庁できる区役所を目指して、全職員を対象に研修を実施します。
  - (2) 人権啓発研修
    - ア 責任職・職員人権啓発研修  
「自分事」として問題を捉え、向き合い、考えることのできる職員の養成を目指し研修を実施します。責任職を対象として、全体研修およびテーマごとに人権問題を考えるグループ毎の指導者研修を実施します。  
また、テーマをもとに、全職員を対象とした研修を実施します。
    - イ 講演会  
区民および職員を対象に、人権啓発講演会を実施します。
  - (3) チーム力アップ研修  
新採用職員・中堅職員の意識高揚や職員全体のチーム力向上を目指して、施設見学等を中心とした研修を行います。
  - (4) 栄区リーダーズカレッジ  
栄区で活躍する地域の方や企業の方を講師に職員向けの研修を実施。栄区の魅力を実感し、地域とのつながりを深める人材の育成を目指します。
  - (5) ワークスタイル研修  
職員を対象に、働き方改革・仕事の生産性向上に資する、仕事の進め方に焦点を当てた研修を実施し、ワークスタイル改革の取組みの推進を図ります。
  - (6) 安全運転講習会  
運転者登録をしている職員を対象に、栄警察署から講師を招き講習会を実施します。
  - (7) 地域夏まつりに向けた講習会  
職員を対象に、講習会を実施します。
- 2 改革推進委員会 (221千円)  
課を横断した委員会メンバーによって、職員満足度の向上や栄区の魅力発信に寄与する取組を行います。
- 3 庁舎改善事業 (3,000千円)  
区民に気持ちよく過ごしていただけるよう、利便性や快適性に配慮した庁舎改善を実施します。
- 4 明るい選挙啓発事業 (250千円)  
選挙啓発を目的とした区内小中高等学校への出前講座を開催するとともに、地域住民を対象とした選挙啓発のための物品作成、配布を行います。
- 5 出生・結婚おめでとうプレゼント (500千円)  
栄区役所に出生届を提出した方及び婚姻届を提出した方に、記念品にお祝いメッセージを添えて贈呈します。なお、これら記念品は区内の福祉施設への発注を予定しています。
- 6 租税教育の充実事業 (200千円)  
租税教育を目的とした区内小学校への出前講座を開催するとともに、区民向けの税の啓発チラシ及び税の啓発グッズを作成し、出前授業で活用します。また併せて地域住民にも配布を行います。

【事業費の内訳】

細目事業名	本年度	前年度	差引	説明
栄区人材育成研修事業	自 1,389	自 1,000	389	新規研修実施による増
改革推進委員会	自 221	自 216	5	旅費の増
庁舎改善事業	自 3,000	自 3,000	0	
SAKAE 早わかりノート	自 0	自 650	650	隔年発行
明るい選挙啓発事業	自 250	自 250	0	
出生・結婚おめでとうプレゼント	自 500	自 500	0	
租税教育の充実事業	自 200	自 0	200	新規事業
事業費合計	5,560	5,616	56	
内 自主企画事業費	5,560	5,616	56	
内 重点事業	0	0	0	

【根拠とするデータ等】

窓口サービス満足度調査（人材育成研修事業）、戸籍事務取扱件数表（出生・結婚おめでとうプレゼント）

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	庶務係
	井上 弘毅 伊藤 ゆかり 佐藤 健也	小田 淳 川村 岳大 藤見 梓 吉田 丈博	関戸 貴生



予算区分	防犯・防災・安全対策費	性質・課題区分	防災	事業開始年度	平成8年度
------	-------------	---------	----	--------	-------

事業名	防災力向上事業
-----	---------

特記事項	中期計画-38の政策 中期計画-行政運営 中期計画-財政運営 重点事業 新規・拡充 温暖化対策関連事業
------	--

中期計画-38の政策	
政策番号	主な施策番号
35	3

事業評価書番号	2
事業評価書番号	

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳				一般財源
		国・県	諸収入			
本年度	13,860					13,860
前年度	6,849					6,849
増減	7,011	0	0	0	0	7,011

歳出	平成28年度	平成29年度	平成30年度
予 算 事業費	7,329	7,008	6,210
メリット+一般財源	7,329	7,008	6,210
決 算 事業費	6,902	6,757	5,916
メリット+一般財源	6,902	6,757	5,916

歳出	令和3年度	令和4年度
予 算 事業費	9,000	9,000
一般財源	9,000	9,000

方針に関する決裁種別( )  
 有:件名( )、日付(年月)  
 無

事業の概要(目的)	風水害や地震などあらゆる災害に対して、予防的活動としての地域の自主防災活動支援、区災害対策本部の機能強化を図るとともに、発災時における迅速的確な応急対策により、防災力の向上に取り組めます。
-----------	--

(説明)

1 地域の課題等

近年の震災により、地震に対する防災意識は高まっていますが、避難所の開設や運営を想定した訓練の取組については拠点ごとにばらつきがあります。  
 また、近年では豪雨による各地の被害も増加していることから、水害対策マニュアルを運用し、より一層の体制強化について地域への浸透を進めていく必要があります。

地域の課題等の収集手段	1 日常の窓口対応等	3 地区担当制度	7 関係団体からの要望
-------------	------------	----------	-------------

2 運営方針等との関係 令和元年度栄区運営方針 防災力の向上

3 根拠法令・要綱等 災害対策基本法、横浜市危機管理指針

【実績の推移・今後見込み】

東日本大震災以降に高まった防災意識をさらに高め、今後発生が予想される地震、豪雨による河川の氾濫やがけ崩れなどの被害を最小限にとどめるための取り組みが必要です。  
 また、区内の崖地について、避難勧告対象箇所への説明及び避難所等の周知が引き続き必要となります。

【実施内容】

1 水害対策事業(8,193千円)

- 自治会・町内会において水害への備えが向上するよう、地域特性に応じた水害対策訓練を実施します。
- 河川及び崖地のハード・ソフト面の対策について、地域・関係機関で課題と対策を共有するための水害対策連絡協議会を開催します。
- 水害等に対する意識の啓発を目的とした防災講演会等を実施します。
- 広報よこはまをはじめ、様々な媒体を活用し、区民一人ひとりが水害への備えを高めるための啓発を行います。
- 水害対策広報スピーカーの出力アップ及び河川水位警告灯設置等による整備、維持管理を行います。

2 震災対策事業

(1) 啓発・補助事業(420千円)

- 区民の防災意識の一層の向上を図るため、啓発物品を配布します。
- 転入した区民向けに防災マップを配布します。
- 新任の自治会町内会長、防災担当者に対して栄区の防災の取組について周知し、意見交換会等を行います。

(2) SC災害安全対策分科会(420千円)

- 防災対策を通じた安全・安心のまちづくりのため、啓発パンフレットの作成や実践的な防災拠点訓練の推進など、災害安全対策分科会での活動を進めます。

(3) 地域防災拠点支援事業(2,577千円)

- 地域や関係機関と課題や対策を共有するため、地域防災拠点運営委員会連絡協議会を開催します。
- 地域防災拠点の資機材点検や修理、必要物品の購入等を行います。
- 避難所の周知啓発の一環として、老朽化している避難場所表示等の看板のメンテナンスを行います。
- 実際の避難所運営に生かせるように子どもや障害者に配慮した内容の出前講座等を行います。

3 区本部機能強化事業(2,250千円)

- 災害時における区役所の機能強化のため、職員研修を行うとともに区本部用の計画的な備蓄を進めます。
- 近年の豪雨災害や浸水ハザードマップ改訂を踏まえ、救助用ゴムボートを購入します。

【事業費の内訳】

細目事業名	本年度	前年度	差引	説明
水害対策事業	重 8,193	自 2,240	5,953	広報強化のための委託費の増
震災対策事業	自 3,417	自 2,972	445	拠点の周知啓発のための委託費の増
区本部機能強化事業	自 2,250	自 1,637	613	備品費の増
事業費合計	13,860	6,849	7,011	
内 自主企画事業費	13,860	6,849	7,011	
内 重点事業	8,193	0	8,193	

【根拠とするデータ等】

過年度の実績や在庫数量に基づき積算

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	庶務 係
	井上 弘毅	御所脇 佑介	江田 迪彌

(様式3-1) 令和2年度事業計画書【自主企画事業費】

No.	3
-----	---

[ 栄 区 区政推進 課 ]

予算区分	街づくり推進費 街づくり推進費 地域コミュニティ費 地域福祉保健推進費	性質・課題区分	地域まちづくり 水・緑環境保全 地域コミュニティ 健康づくり	事業開始年度	平成17年度
------	--	---------	---	--------	--------

事業名
区政推進事業

特記事項
中期計画-38の政策
中期計画-行政運営
中期計画-財政運営
重点事業
新規・拡充
温暖化対策関連事業

中期計画-38の政策	
政策番号	主な施策番号
13	4

事業評価書番号	3
事業評価書番号	

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳				一般財源
		国・県	諸収入			
本年度	25,520		725			24,795
前年度	25,226		613			24,613
増減	294	0	112	0	0	182

歳出	平成28年度	平成29年度	平成30年度
予 事業費	16,320	22,934	26,756
算 メリット+一般財源	16,095	22,704	26,494
決 事業費	15,911	23,679	25,075
算 メリット+一般財源	15,651	22,770	23,895

歳出	令和3年度	令和4年度
予 事業費	25,520	25,520
算 一般財源	24,795	24,795

方針に関する決裁 種別( )  
有:件名( )、日付( 年 月 )  
無

事業の概要 (目的)	<p>栄区の魅力創出事業 (タッチーくんの魅力発信事業) タッチーくんを栄区の魅力・イメージを発信するためのツールとして成長させるため、特に区外へのPRを重点的に行い、知名度向上をめざします。</p> <p>(セカンドキャリア支援事業) 「区民力の発揮」を目的に、高いスキルや積極性を有する区民のセカンドキャリア選択を支援します。</p> <p>(さんぼみちコミュニティカフェ事業) 旧ふれあいショップ「さんぼみち」跡スペースにオープンしたコミュニティカフェについて、区民が憩い交流する場として、継続的な事業の実施を目指します。</p> <p>花と森と川のまち推進事業 (花いっぱい魅力づくり) 花いっぱい基本構想に基づき、花を感じる空間づくり・人づくりを推進し、花のあるライフスタイルを広めます。 また、区局や地域と連携した取り組みであるガーデンネックレス横浜の取り組みとして、栄区の玄関口である本郷台駅前の街路樹柵及び周辺の交通島における雑草を抑制し、花と緑でこれまで以上に彩りを感じられる空間を整備します。</p> <p>(愛護会活動支援事業) 身近な公園や、いたち川を中心とした河川・水路の維持管理を行っている、公園愛護会・水辺愛護会の活動活性化を図るため、支援を行います。</p> <p>(さかえの食と農を育む事業) 地産地消を推進するため、食と農に対する区民の意識を高め、育む風土創りに取り組みます。</p> <p>(さかえ・森の魅力推進事業) 豊かな自然環境を守り育てるため、自然環境に対する関心を深める取組として、地域と連携し、水や緑の魅力を発信します。</p> <p>(温暖化対策事業) 地球温暖化対策を進めるため、子どもの頃から環境への意識を高めるための取組や、省エネ行動を促すための取組を行います。</p> <p>セーフコミュニティ推進事業 国際認証「セーフコミュニティ」の取組を導入し、「致命的な事故やケガは原因を究明することで予防できる」という考え方の下、住民と行政、関係団体等が協働して、様々な予防活動を展開し、区民のすべてが健やかで元気に暮らすことができる安全・安心なまちづくりを進めます。</p> <p>まちづくり推進事業 (郊外住宅地の持続可能なまちづくりの推進) 高齢化の進む栄区東部の郊外住宅地を対象に、将来にわたって誰もがいきいきと暮らしやすいまちを目指し、地域の活力や環境などの向上につなげるために福祉、環境、都市基盤等の観点からまちづくりの検討を行います。</p> <p>(本郷台駅周辺のまちづくり推進) 栄区全体を「活気のあるまち」にしていくための取組の一環として、区の拠点である本郷台駅周辺地区の魅力あるまちづくりを進めていきます。</p> <p>(栄IC・JCT(仮称)周辺のまちづくり) 横浜環状南線の栄IC・JCT(仮称)周辺におけるまちづくりについて、地域と連携して検討を進めていきます。</p> <p>(交通改善による温暖化対策実証事業) 高齢者の交通事故防止、温暖化対策を目的に、行政と交通事業者が連携した取組の実証実験を行います。</p> <p>(安心・安全な道づくり事業) 栄区と鎌倉市を結ぶ天園(ハイキングコース)への玄関口であるが、急な階段であるため手すりを整備し、利用者への安全と安心を向上させます。</p>
---------------	---

(説 明)				
1	地域の課題等			
<p>栄区の魅力創出事業</p> <p>(タッチーくんの魅力発信事業) タッチーくんは区内で人気のキャラクターに成長しましたが、その範囲は栄区内にとどまっています。今後、タッチーくんを栄区の魅力発信ツールとしてより発展させていくために、区外への知名度向上を目指したPRに力点を置いた取組を進める必要があります。</p> <p>(セカンドキャリア支援事業) 栄区は高齢化率が18区中最も高い区であることに加え、区内の人口構成では40代の構成比が最も高い区です。一方で栄区の労働力率は54.4%と本市平均60.6%を下回っており、65歳以上高齢者の社会参加機会創出に加え、女性の就業をめぐるいわゆる「M字カーブ」解消についてもニーズがあることが推察されます。また、栄区は横浜市人口推計において2065年まで人口減少が続くと推計されていますが、既に現時点においても区民から各種ボランティアや地域活動の担い手不足の声が日常的に寄せられています。このため、コミュニティ持続可能性の観点から就業者以外にも各種担い手の確保・育成が急務です。そこで、中高年層のセカンドキャリアを活かして地域での課題解決に寄与することが期待されますが、「栄区を中心とした地域を軸に当事者自身の意向を加味した情報を得るサービス」が存在しないことから、中高年層のセカンドキャリア選択の支援を実施する必要があります。</p> <p>(さんぼみちコミュニティカフェ事業) 誰もが利用できる身近な地域の施設において、世代や立場を超えて集える居場所が求められています。</p> <p>花と森と川のまち推進事業</p> <p>(花いっぱい魅力づくり) 平成27年度に取組を開始し、現在までに一定の浸透は認められますが、花いっぱいの取組を区内全体に広げるためには、区民(自治会・町内会、公園愛護会等のボランティア団体)との連携が不可欠であり、地域の身近な環境活動への参加を促進することが必要です。 また、街路樹柵内及び交通島には年1回の除草は行っていますが、年間を通して雑草が繁茂しており、まちの景観を損ねています。</p> <p>(愛護会活動支援事業(「公園愛護会活動支援事業」から名称変更)) 公園愛護会は、地元自治会・町内会を母体として結成している団体が多く、自治会ぐるみで熱心に活動している団体がある一方、多くの団体では高齢化や担い手不足といった課題があり、活動の継続が難しくなっています。 水辺愛護会は、制度の創設から20年が経過し、制度開始当初に結成された有志の活動メンバーを主力としている団体が多いため、高齢化が進んでおり担い手不足が深刻です。また、活動に対する地域の認識が低いことなどから、新たなメンバーの募集が困難で、活動の継続が難しくなり、活動内容を縮小する団体が出てきています。</p> <p>(さかえの食と農を育む事業) 地産地消を普及啓発するためには、栄区の食と農の魅力を区民に知ってもらい、意識を高める取組を継続して行うことが必要です。</p> <p>(さかえ・森の魅力推進事業) 栄区の魅力資源である豊かな自然の魅力を発信するには、区内の魅力資源を包括的に把握し、各地域で活動する団体や、関係部署との連携による総合的な取組が必要です。</p> <p>(温暖化対策事業) 横浜市では地球温暖化の主な要因であるCO2の排出量のうち、家庭からの排出量が占める割合が20%を超えていることから、区民が家庭でできる省エネ行動の実践を促進することが必要です。</p> <p>セーフコミュニティ推進事業</p> <p>栄区は、平成25年10月に「セーフコミュニティ」の認証都市となり、平成30年10月には再認証を取得しました。これを機に、栄区の安全・安心都市としてのプロモーション活動を引き続き展開し、地域における継続した取組を進める必要があります。また、急激な高齢化の進行や、転倒・転落等による不慮の事故の増加等が課題となっています。また、平成30年度に実施したセーフコミュニティアンケートでは、セーフコミュニティの認知度は34.8%となっており、認知度の向上が必要です。</p> <p>まちづくり推進事業</p> <p>(郊外住宅地の持続可能なまちづくりの推進) 上郷東地区は、少子高齢化の進行や交通不便、旧庄戸中学校後利用といった課題を抱えており、平成31年2月に課題解決に向けた助言が地域から提出されています。地域の方々が安心していきいきと、居心地良く住み続けることができる持続可能なまちづくりが求められています。</p> <p>(本郷台駅周辺のまちづくり推進) 本郷台駅周辺単独のまちづくりにとどまらず、郊外部で高齢化が進む栄区全体のまちづくりにおいて、区の玄関口であり拠点である当該地区の魅力向上が果たす役割や効果を視野に入れながら事業を進める必要があります。また、本郷台駅周辺の魅力向上のために、公開空地等を活用した活性化を図るためエリアマネジメントを実施していく必要があります。そのためにも、エリアマネジメントの前提となる地域住民等が主体となった体制づくりや取組を進める必要があります。</p> <p>(栄IC・JCT(仮称)周辺のまちづくり) 横浜環状南線の栄IC・JCT建設地周辺では、地元町内会を中心に、道路整備後のまちづくりについて強い要望があります。こうした地元動向に対し、地域とともに実現可能なまちづくりを検討することで、横浜環状南線の整備効果を地域活性化につなげていく必要があります。</p> <p>(交通改善による温暖化対策実証事業) 全国的に多発している高齢運転者による事故への対策が課題となっており、高齢者の運転免許返納の促進が求められています。 また、栄区内でも公共交通の不便な地域があり、免許返納者の自家用車に代わる交通手段確保が課題です。</p> <p>(安心・安全な道づくり事業) 天園入口の階段については、劣化が進み景観上問題があります。また、利用者から不安の声も上がっています。現在、道路整備事業で階段本体の補修は順次行っているが、手すりの整備はなされていません。階段が急こう配であるため、手すりの整備を求められています。</p>				
地域の課題等の収集手段	1 日常の窓口対応等	6 区民要望	7 関係団体からの要望	8 その他
2	<p>運営方針等との関係</p> <p>令和元年度栄区運営方針 目標達成に向けた施策 1 栄の魅力創出と発信によるにぎわいのあるまちづくり 2 将来を見据えた持続可能なまちづくり</p>			

3 根拠法令・要綱等	栄区いたち川マスコットタッチーくんデザイン利用許諾取扱要綱 栄区花いっぱい基本構想 横浜市公園愛護会事務取扱要綱、横浜市水辺愛護会設置要綱 横浜市の都市農業における地産地消の推進等に関する条例、さかえの食と農を育む事業補助金交付要綱 地球温暖化対策実行計画 栄区セーフコミュニティ推進協議会運営要綱 栄区傷害サーベイランス分科会運営要綱 都市計画法、本郷台駅周辺地区まちづくり構想、地域まちづくり推進条例、横浜市エリアマネジメントに係る協定等の事務取扱要綱
------------	---

【実績の推移・今後見込み】

栄区の魅力創出事業  
(タッチーくんの魅力発信事業)

30年度	令和元年度	2年度見込み
<タッチーくんの魅力発信事業> ・着ぐるみを活用したPR(7月~) ・ゆるキャラグランプリに参加し区内外のイベント等にてタッチーくんの魅力発信(8~11月・全国42位/県内1位) ・ツイッター等でタッチーくんから区の魅力発信(通年) ・タッチーくんグッズの製作・販売(11月~/販売実績900千円)	<タッチーくんの魅力発信事業> ・着ぐるみを活用したPR(通年) ・ツイッター等でタッチーくんから区の魅力発信(通年) ・デザイン利用の推進(通年) ・着ぐるみの新規作成(5月~9月) ・タッチーくんグッズの製作・販売(通年・販売見通し600千円)	<タッチーくんの魅力発信事業> ・着ぐるみを活用したPR(通年) ・ツイッター等でタッチーくんから区の魅力発信(通年) ・タッチーくんグッズの製作・販売(通年・販売見通し420千円) ・デザインパターンの追加(10月)

(さんばみちコミュニティカフェ事業)

29年度	30年度	令和元年度	2年度見込み
市民団体との協働によるイベント開催(7、11月)	・区民有志や指定管理者との連携によるイベント開催(8~12月) ・コミュニティカフェ運営事業者の募集及び選定(2~3月)	・関係者等への説明会開催(5~6月) ・運営事業者との協定締結(7月) ・コミュニティカフェの実施(7月~)	・コミュニティカフェの実施(4月~) ・公会堂指定管理者募集内容との調整(4月~)

花と森と川のまち推進事業  
(花いっぱい魅力づくり事業)  
 年2回~3回程度、季節の花を植樹  
 年3回 園芸講座の開催

(愛護会活動支援事業)  
 公園愛護会  
 【28年度】 愛護会団体数：104団体、活動回数：5,864回、参加者延べ人数：29,260人  
 【29年度】 愛護会団体数：102団体、活動回数：5,950回、参加者延べ人数：30,071人  
 【30年度】 愛護会団体数：103団体、活動回数：6,406回、参加者延べ人数：37,270人  
 水辺愛護会  
 水辺愛護会制度創設時である平成9年度に区内では3団体が発足し、以後、順次結成団体が増加し、現在は16団体と市内最大の結成数である。また、活動継続10年以上の永年表彰を受けた団体は12団体にもなるが、結成当時の活動メンバーを主力としている団体が多く、今後、団体参加者の増加は見込めない。

(さかえの食と農を育む事業)

	28年度実績	29年度実績	30年度実績	令和元年度実績	2年度見込み
さかえの食と農を育む事業 (本郷台アオソラマルシェ)	来場者数(人)	6,000	5,500	4,000	5,000

(さかえ・森の魅力づくり推進事業)

28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	令和元年度見込み	2年度見込み
MISIAの森プロジェクトにより、情報発信	・広報よこはま栄区版にて、横浜自然観察の森や市民の森についてPR ・区民まつりにてPR ・区内市民の森愛護会及び森づくりボランティア交流会	・区民まつり、各種イベント等で栄区の自然や森の魅力をPR ・竹の魅力発信 ・天園の案内板の検討・設置 ・各環境活動団体等の交流会の実施	・各種イベント等で栄区の自然や森の魅力をPR ・タウン誌による森の魅力PR ・各環境活動団体等の交流会の実施 ・フォトコンテストの実施 ・地域資源である竹のPR	・各種イベント等で栄区の自然や森の魅力をPR ・各環境活動団体等の交流会の実施 ・タウン誌による森の魅力PR

(温暖化対策事業)

	29年度実績	30年度実績	令和元年度見込み	2年度見込み
親子の社会科見学	参加者数	28組63人	36組73人	60組120人

セーフコミュニティ推進事業

	26年度実績	27年度実績	28年度実績	29年度実績	30年度実績	令和元年度見込み	2年度見込み
推進協議会	1回	1回	1回	1回	2回	1回	1回
傷害サーベイランス分科会	1回	2回	2回	2回	2回	2回	2回
主な取組	年次報告フォーラム	年次報告フォーラム	年次報告	再認証事前指導	再認証現地審査認証式	年次報告フォーラム	年次報告フォーラム

まちづくり推進事業  
(郊外住宅地の持続可能なまちづくり推進)

27年度実績	28年度実績	29年度実績	30年度実績	令和元年度見込み	2年度見込み
・まちづくり協議会設立 ・現状調査	・まちづくり協議会分科会の実施 ・まちづくり構想策定 ・庄戸中みんなで作おうPJ	・まちの再生・活性化委員会及び分科会の設立・実施 ・構想に基づく事業の推進 ・庄戸夏祭り出店	・まちの再生・活性化委員会及び分科会の実施 ・構想に基づく事業の推進 ・区長へ助言書の提出	・助言を参考にした庁内調整の推進 ・サウンディング調査の実施	・助言を参考にした庁内調整の推進 ・旧庄戸中学校後利用の事業化に向けた検討

(本郷台駅周辺のまちづくり推進)

26年度～30年度実績	令和元年度見込	2年度見込み	3年度以降見込
・まちづくり懇談会(26年度) ・まちづくり構想策定(27年度) ・駅前広場植栽整備(29年度) ・駅前広場サイン等改修(30年度) 等	・本郷台駅周辺地区の魅力向上検討(ビジョンの策定) ・本郷地区センター後利用検討	・本郷台駅周辺地区の魅力向上検討(エリアマネジメント活動実施に向けたコーディネート) ・エリアマネジメント計画の策定、協定締結調整	・エリアマネジメント活動への支援(活動補助等) ・周辺公共施設等の利活用、更新計画検討

(栄IC・JCT(仮称)周辺のまちづくり)

28年度実績	29年度実績	30年度実績	令和元年度見込み	2年度見込み
・勉強会 2回 ・検討委託	・勉強会 3回 ・検討委託	・意見交換 2回 ・サウンディング調査に向けた検討 ・検討委託	・意見交換 2回 ・サウンディング調査に向けた検討 ・庁内調整	・意見交換 2回 ・サウンディング調査 ・庁内調整

(交通改善による温暖化対策実証事業)

令和2年度見込み	3～4年度見込み	5年度以降見込み
・交通事業者との調整 ・運転免許自主返納プロモーション活動 ・小型電気バスの実証実験運行開始	・小型電気バスの実証実験運行継続 ・実証実験による効果検証 ・実証実験終了後の小型電気バスの本格運行に向けた地域主体の取組を支援(地域交通サポート事業の活用)	・実証実験後の小型電気バスの本格運行を交通事業者または地域主体で開始 ・自動運転導入の検討

(安心・安全な道づくり事業)  
20m/年の施工で3か年で完了

【実施内容】

栄区の魅力創出事業

(タッチーくんの魅力発信事業)(1,150千円)

ゆるキャライベント等への参加や、SNS等を活用するなど、区外へ向けてタッチーくんの積極的なPR活動を行います。

また、タッチーくんのデザインを広く活用してもらうため、区役所でのグッズ販売を継続し、販売実例を企業等に向けてPRします。また、デザインパターンを追加します。

(セカンドキャリア支援事業)(2,300千円)

次年度以降、本市各局や公的団体が実施する事業の紹介、または出張実施のコーディネート、仲間づくりの機会提供等によりセカンドキャリア選択を支援するため、区内における中高年層のニーズを把握するアンケート調査を実施し、検討を進めます。

また、ボランティア団体等へのヒアリング調査を実施し、今後の当事業の方向性について検討を行います。

(さんぽみちコミュニティカフェ事業)(400千円)

栄公会堂地下1階旧ふれあいショップ「さんぽみち」跡スペースにオープンしたコミュニティカフェについて、運営事業者と連携し、継続的かつ安定的な事業となるよう広報等を行います。

花と森と川のまち推進事業

(花いっぱい魅力づくり)(1,760千円)

区民が四季折々に咲く花の彩りを感じ、心豊かに生活できるように、自治会・町内会や公園愛護会等のボランティア団体と連携して、栄区全体で花を感じる空間づくりを進めます。また、オープンガーデンに関心のある区民が、オープンガーデンを実施しやすい環境づくりを行います。

また、季節に合わせて花々を、2～3回/年、交通島や植栽柵に植樹します。

(愛護会活動支援事業)(1,400千円)

公園や水辺の日常管理を担っている公園愛護会や水辺愛護会は、高齢化による会員減少や担い手不足が課題となっています。しかしながら、地域において、これらの愛護会への認知度は十分ではありません。

そこで、愛護会の活動について多くの区民の理解を深め、参加の輪を広げていくため、日常の活動の機会等を活用したPRを行うほか、ガーデンネックレスの取組を継続する花壇の整備等の緑化活動を拡充し、地域の住民にみどりや潤いのある生活へ接する機会を増やすことで、新たな担い手の獲得を図ります。

また、様々なボランティア団体について、合同での施設見学会や愛護会のつどいを開催することで、特徴的な活動や類似の活動を行っている団体を知り、また、同じ地域で活動している公園と水辺のそれぞれの愛護会等の交流を行うことで、新たな活動に対する手がかりを得る機会を増やし、愛護会活動への意欲や関心を高めます。

さらに、団体数の多い公園愛護会については、区制30周年を契機に創設した区長表彰制度を継続し、活動への意欲向上を図ります。

(さかえの食と農を育む事業)(1,220千円)

地域やJA、関連団体等と連携して、本郷台アオソラマルシェや地産地消料理教室を開催します。

(さかえ・森の魅力づくり推進事業)(1,302千円)

環境活動団体等と連携し、栄区の豊かな自然環境を効果的に発信するとともに、環境活動団体等の交流会を実施します。

(温暖化対策事業)(370千円)

温暖化対策について、区民が楽しみながらエネルギーや省エネについて学べる啓発イベントを実施します。

(本郷台駅前上屋等の維持管理(「駅前太陽光発電システムの維持管理」から名称変更))(198千円)

本郷台駅前にあるバスターミナル上屋等について、定期点検等の維持管理を行います。

セーフコミュニティ推進事業 6,230千円

各分科会の取組について、PDCAサイクルによる進捗管理を実践していくとともに、傷害サーベイランス分科会において関連データの収集・分析を行い、科学的根拠に基づく継続的な目標の見直し、取組の改善を行います。また、幅広い世代の方にセーフコミュニティを知る機会を設けるとともに、日頃の活動への感謝を表すため「さかえセーフコミュニティフォーラム」を開催します。認知度の向上を図るとともに、セーフコミュニティ活動への参加の輪を広げるためにプロモーションを展開します。

まちづくり推進事業

( 郊外住宅地の持続可能なまちづくりの推進 ) ( 1,000千円 )

平成30年度に提出された助言やサウンディング調査の内容を参考に、旧庄戸中学校後利用の改修工事等の検討を行います。

( 本郷台駅周辺のまちづくり推進 ) ( 3,020千円 )

本郷台駅前での民間事業者による開発にあわせ、駅前からいたち川にかけての魅力向上を図り、エリア全体の更なるまちづくりを推進するため、地域が主体となったエリアマネジメント活動の誘導のための検討を行うとともに、活動の実施に向けた組織づくりや計画検討等の支援(コーディネート)を行います。

( 栄IC・JCT(仮称)周辺のまちづくり ) ( 50千円 )

横浜環状南線の整備にあわせて地域の活性化につなげていくため、地域の意見を踏まえ、サウンディング調査など、栄IC・JCT(仮称)周辺におけるまちづくりについて検討を行います。

( 交通改善による温暖化対策実証事業 ) ( 3,120千円 )

高齢の運転免許返納者が無料で利用できる小型電気バスの運行を行政と交通事業者が連携して行う実証実験を行う。実証実験により運転免許自主返納の促進、CO2排出量の削減、交通利便性向上等の効果や問題点を確認する。

( 安心・安全な道づくり事業 ) ( 1,000千円 )

栄区と鎌倉市を結ぶ天園(ハイキングコース)への玄関口であるが、急な階段であるため手すりを整備し、利用者への安全と安心を向上させます。

( 区づくり連絡調整費 ) ( 1,000千円 )

区内の主要事業を円滑に推進するため、関係機関や地元との連絡調整を行います。また、区民要望等に迅速に対応するために臨時的な事業を実施します。

【事業費の内訳】

細目事業名	本年度	前年度	差引	説明
タッチーくんの魅力発信事業	自 1,150	自 2,000	850	着ぐるみ作成費の減
企業交流事業	自 0	自 500	500	事業終了
セカンドキャリア支援事業	重 2,300	自 0	2,300	新規事業
さんぼみちコミュニティカフェ事業	自 400	自 400	0	
花いっぱい魅力づくり	自 1,760	自 1,060	700	園芸講座の開催等による増
愛護会活動支援事業	自 1,400	自 500	900	事業統合等に伴う増
水辺愛護会活動支援事業	自 0	自 300	300	「愛護会活動支援事業」に統合
いたち川魅力づくり事業	自 0	自 2,000	2,000	事業終了
さかえの食と農を育む事業	自 1,220	自 1,220	0	
さかえ・森の魅力づくり推進事業	自 1,302	自 3,874	2,572	竹関連事業等の終了による減
温暖化対策事業	自 370	自 1,620	1,250	一部事業終了に伴う減
本郷台駅前上屋等の維持管理	自 198	自 232	34	実績を踏まえた減
セーフコミュニティの取組推進	自 3,430	自 2,030	1,400	SCアンケート実施による増
セーフコミュニティフォーラムの開催	自 1,300	自 1,300	0	
セーフコミュニティプロモーション	自 1,500	自 600	900	プロモーション強化に伴う増
郊外住宅地の持続可能なまちづくりの推進	自 1,000	自 1,600	600	委託内容の精査による減
本郷台駅周辺のまちづくり推進	自 3,020	重 3,020	0	
栄IC・JCT(仮称)周辺のまちづくり	自 50	自 1,000	950	庁内で調査・検討を実施することによる減
交通改善による温暖化対策実証事業	重 3,120	自 0	3,120	新規事業
安心・安全な道づくり事業	自 1,000	自 0	1,000	新規事業
都市計画マスタープラン・栄区プラン改定事業	自 0	自 970	970	事業完了のため減
区づくり連絡調整費	自 1,000	自 1,000	0	
事業費合計	25,520	25,226	294	
内 自主企画事業費	25,520	25,226	294	
訳 重点事業	5,420	3,020	2,400	

【根拠とするデータ等】

「横浜市高齢者実態調査報告書」(平成29年3月 健康福祉局)、「元気で輝く高齢期を迎えるための意識調査・シニア層の活用に関する企業調査」(平成28年3月 政策局)、「第97回横浜市統計書」、「平成27年国勢調査」、「栄区セーフコミュニティアンケート」結果(30年度)、「栄区民意識調査」調査結果(29年度)、救急搬送データ(30年)、人口動態統計(30年)、小中災害共済給付データ(30年度)

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	区政推進課長	係長	企画調整係長	企画調整係
		永松 弘至		高木 達也	三根山 寛子



No.	4
-----	---

予算区分	広聴広報相談費	性質・課題区分	広報・広聴	事業開始年度	平成6年度
------	---------	---------	-------	--------	-------

事業名
広報・広聴事業

特記事項
中期計画-38の政策
中期計画-行政運営
中期計画-財政運営
重点事業
新規・拡充
温暖化対策関連事業

中期計画-38の政策	
政策番号	主な施策番号

事業評価書番号	4
事業評価書番号	

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳				一般財源
		国・県	諸収入			
本年度	1,325		216			1,109
前年度	3,708		0			3,708
増減	2,383	0	216	0	0	2,599

歳出	平成28年度	平成29年度	平成30年度
予 事業費	7,658	10,908	7,738
算 メリット+一般財源	6,828	10,192	7,088
決 事業費	7,812	10,452	7,062
算 メリット+一般財源	7,095	9,782	6,322

歳出	令和3年度	令和4年度
予 事業費	3,750	925
算 一般財源	3,650	825

方針に関する決裁 種別( )  
有:件名( )、日付( 年 月 )  
(無)

事業の概要 (目的)	<p>広報事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・栄区を広くPRするため「栄区広報TV」の動画をホームページにて発信します。</li> <li>・栄区の最新情報を提供するため、ラジオ放送を行います。</li> <li>・栄区紹介パンフレットを多言語版と合わせて改訂し、栄区の魅力を幅広くPRします。</li> </ul>
------------	---

(説明)

1 地域の課題等

広報事業  
(栄区広報TV PR事業)  
紙媒体のみならず映像を通じて情報を発信していくことで、より視覚的な広報を拡充する必要があります。  
(ラジオ放送事業)  
毎日放送することにより、栄区の最新の情報を提供することができます。  
(栄区紹介パンフレット改訂事業)  
栄区の魅力を幅広くPRするためには、栄区の基本情報や魅力、事業等がコンパクトにまとまったツールが必要です。

地域の課題等の収集手段				
-------------	--	--	--	--

2 運営方針等との関係 目標達成に向けた施策 栄の魅力創出と発信によるにぎわいのあるまちづくり

3 根拠法令・要綱等

【実績の推移・今後見込み】

広聴事業

	H28年度実績	H29年度実績	H30年度実績	元年度見込み	2年度見込み
区民意識調査・アンケート	実施無	回答1393/実施3000	実施無	回答1500/実施3000	実施無

【実施内容】

広報事業  
(栄区広報TV PR事業) (713千円)  
放送した「栄区なう!TV」の動画をホームページにアップすることで、ケーブルテレビに加入していない世帯や放送エリア外の世帯でも「栄区なう!TV」を視聴できるようにします。  
(ラジオ放送事業) (212千円)  
栄区の情報を毎日のラジオ番組で放送します。  
(栄区紹介パンフレット改訂事業) (400千円)  
栄区の魅力や概要をまとめたパンフレットを改訂し、合わせて多言語版(英語、中国語(簡体字)、韓国語)を作成します。また多言語の文字データをWeb上で閲覧できるよう対応することで、栄区の魅力を幅広くPRします。

【事業費の内訳】

細目事業名	本年度	前年度	差引	説明
栄区広報TV PR事業	自 713	自 700	13	消費税率変更による増
区民生活マップ作成事業	自 0	自 1,400	1,400	隔年実施による
ラジオ放送事業	自 212	自 208	4	消費税率変更による増
栄区紹介パンフレット改訂	自 400	自 0	400	パンフレット改訂に伴う増
区民意識調査	自 0	自 1,400	1,400	隔年実施による
			0	
事業費合計	1,325	3,708	2,383	
内 自主企画事業費	1,325	3,708	2,383	
内 重点事業	0	0	0	

【根拠とするデータ等】

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	区政推進課長	係長	広報相談係長	広報相談係
		永松 弘至		鈴木 恵美子	水野 沙織

No.	5
-----	---

[ 栄区 地域振興課 ]

予算区分	地域コミュニティ費 防犯・防災・安全対策費 防犯・防災・安全対策費 地域コミュニティ費 区役所総務費 街づくり推進費	性質・課題区分	地域コミュニティ 防犯 交通安全 環境美化 その他 商店街振興	事業開始年度	平成6年度
------	---	---------	--	--------	-------

事業名
地域活動の推進・にぎわい振興事業

特記事項
中期計画-38の政策
中期計画-行政運営
中期計画-財政運営
重点事業
新規・拡充
温暖化対策関連事業

中期計画-38の政策	
政策番号	主な施策番号
11	1,3,6
12	1,2
20	5
33	5

事業評価書番号	5
事業評価書番号	

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳				一般財源
		国・県	諸収入			
本年度	13,220					13,220
前年度	12,312					12,312
増減	908	0	0	0	0	908

歳出	平成28年度	平成29年度	平成30年度
予 事業費	14,084	13,302	12,886
算 メリット+一般財源	13,984	13,292	12,665
決 事業費	13,262	12,761	12,886
算 メリット+一般財源	13,162	12,661	12,665

歳出	令和3年度	令和4年度
予 事業費	13,220	13,220
算 一般財源	13,220	13,220

方針に関する決裁種別( )  
有:件名( )、日付( 年 月 日)  
無

事業の概要 (目的)	<p>《交通安全・防犯各事業》 区民総ぐるみで、振り込め詐欺被害防止をはじめ、防犯活動や交通事故防止活動を区役所、消防、警察などの関連行政機関、地域と協力して実施します。</p> <p>《3R推進事業・生ごみ等堆肥化事業》 ごみ減量に向けて、各家庭の生ごみ等の堆肥化や食品ロスの削減の啓発など、更なる3Rを推進します。</p> <p>《自治会・町内会振興事業》 住民組織の代表である自治会・町内会長の日頃の活動に感謝の意を表する機会を創出します。各自治会・町内会へ区連会の回覧物・掲示物を配送し、情報共有を図ります。</p> <p>《栄区民まつり》 区民による、区民のための「まつり」を実施することにより、栄区の新たな歴史を積み重ねていくとともに郷土愛を育みます。</p> <p>《ほっとイルミネーション》 本郷台駅前をイルミネーションで彩ることにより、周辺地域の活性化及び商店街のPR・振興を図ります。</p> <p>《商店街にぎわい創生事業》 様々な人・団体と連携し、活性化策を検討し、商店街ににぎわいを創出します。</p>
---------------	--

(説明)

1 地域の課題等

《SC交通安全対策分科会、スクールゾーン・自転車対策事業》  
区民意識調査において交通安全対策に対する要望は高く、交通ルールの徹底やマナーの習得が求められています。一方、栄区内で発生する交通事故の傾向から、子どもと高齢者に対する啓発活動の重要性が高まっています。

《SC防犯対策分科会》  
栄区では振り込め詐欺等の事件が増加しており、区民意識調査の結果からも防犯対策に対して不安を持っている区民が多いことがうかがわれるため、地域、学校、各種団体などと行政が連携、協働し、犯罪に強く安全な街づくりを推進することが必要です。

《3R推進事業、生ごみ等堆肥化事業》  
横浜市における温室効果ガス排出量は、全国と比較して、家庭部門が占める割合が高くなっていることから、燃やすごみの多くを占める生ごみの削減など、更なる3R行動の実践が求められます。特に、燃やすごみに含まれている食品ロスについては、横浜市内で年間10万5千トンもの量が発生しており、大きな課題となっています。

《自治会・町内会振興事業》  
住民組織の代表として地域の環境整備・福利厚生等に取り組み、地域社会の発展に大きく貢献している自治会・町内会長の日頃の活動への感謝の意を表する機会が必要です。  
住民組織の代表として活動している自治会・町内会の協力を得て、区役所や区内団体の情報を区民の方々に広く知らせることにより、行政情報等の共有を図るとともに、地域の一体感を深め地域の活性化を図る必要があります。

《栄区民まつり》

高齢化社会の進行及び地域の近隣関係が希薄になるなか、栄区への愛着を深め、地域の活性化や世代間の交流を促す一環として、栄区民まつりを開催します。開催にあたり、区民ニーズに応え、多くの区民が楽しめるようにするためには、区民で組織する、栄区民まつり実行委員会への総合的な支援が必要です。

《ほっとイルミネーション》

本郷台駅前広場では、冬季イベントが少ないことが課題となっているため、駅前をイルミネーションで彩る等のイベントを開催し、駅前の活性化を図ることが必要です。

《商店街にぎわい創生事業》

商店の承継者が不足し高齢化が進む中、地域活動、イベント開催等の活動意欲を持つ担い手が商店街内で不足しているだけでなく、商店街の知名度自体も低いため、商店街と地域の団体のつながりを作り、強化することにより、街のにぎわいを創出していく必要があります。

地域の課題等の収集手段	1 日常の窓口対応等	5 区民アンケート	6 区民要望	7 関係団体からの要望
-------------	------------	-----------	--------	-------------

2 運営方針等との関係	令和元年度区政運営方針 1 栄の魅力創出と発信によるにぎわいのあるまちづくり 2 将来を見据えた持続可能なまちづくり
-------------	--

3 根拠法令・要綱等	交通安全対策基本法、第10次横浜市交通安全計画、スクール・ゾーン推進組織助成金交付要綱、栄区自転車等放置防止推進協議会地区活動補助金交付要綱、栄区セーフコミュニティ推進協議会設置要綱、栄リユース食器利用促進補助事業補助金交付要綱、栄区自治会町内会長永年在職者表彰要綱、栄区民まつり補助金交付要綱
------------	---

【実績の推移・今後見込み】

	28年度実績	29年度実績	30年度実績	元年度見込み	2年度見込み	
各季の交通安全キャンペーン参加人数	7,700	7,500	7,500	7,500	7,500	(単位:人)
栄区ごみと資源の総量	29,427	28,881	28,149	27,870	-	(単位:ト)
リユース食器利用団体	4	3	2	2	2	(単位:団体数)
自治会・町内会長永年在職者表彰者数	8	4	5	6	-	(単位:人)
自治会・町内会長感謝会参加人数	77	75	73	73	-	(単位:人)
自治会・町内会への配送物	-	-	-	1,150	1,150	(単位:個)
栄区民まつり来場者数	50,000	50,000	50,000	50,000	50,000	(単位:人)
ほっとイルミネーション来場者数	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500	(単位:人)
商店街にぎわい創生事業	1	2	2	3	2	(単位:事業実施対象商店街数)

【実施内容】

《地域活動推進事業》

令和元年度まで3事業(交通安全啓発活動、スクールゾーン対策事業、SC交通安全対策分科会)であった事業を以下の2事業に再編成しました。

(1) SC交通安全対策分科会(924千円)

栄区の交通安全に関する現状を把握し、分科会での課題に対する対策として、世代別の啓発活動を実施し、交通安全活動の一体的な取り組みを目指します。(旧:交通安全啓発事業から啓発物品に係る消耗品費を統合。124千円)

(2) スクールゾーン・自転車対策事業(826千円)

スクールゾーン対策協議会及び自転車等放置防止推進協議会への助成を行い、地域と協働した交通安全対策に取り組みます。(旧:交通安全啓発事業から自転車等放置防止推進協議会助成費用について統合。126千円)

令和元年度までの2事業(SC防犯対策分科会、防犯活動の推進・啓発活動)であった事業を統合しました。

(3) SC防犯対策分科会(1,439千円)

令和元年度までの2事業(SC防犯対策分科会、防犯活動の推進・啓発活動)であった事業を統合しました。

栄区の防犯対策に関する現状を把握し、分科会での課題に対する対策として、各種啓発活動を実施します。

地域において防犯活動を行っている団体に対し、防犯グッズの配布等を通じて活動を支援します。

また、新入学児童への防犯ブザーの配布や日々の防犯情報等のメール配信、街頭キャンペーンにより、防犯意識の啓発を行います。新たに振り込め詐欺対策の一環として、試験的に1,000台の自動通話録音機の配布を行います。

(4) 3R推進事業(347千円)

行政・地域・企業が一体となって「リデュース」に重点をおいた3R活動を推進します。(イベント等における3Rの普及啓発活動、リユース食器利用促進補助、使い切りクッキング教室の実施)

(5) 生ごみ等堆肥化事業(744千円)

ミニ・キエー口のモニタリング事業によって、生ごみの削減に関心を持っていただき、各世帯の状況に応じた普及促進を図るため、キエー口の購入補助制度を継続します。

(6)自治会・町内会振興事業(1,760千円)

地域社会の発展に貢献している自治会・町内会長に対し、感謝の意を表する催しを実施するとともに、永年在職者である自治会・町内会長を表彰します。

また、自治会・町内会の協力を得て区民に行政情報等の周知・共有を図るため、各自治会・町内会へ回覧物・掲示物を配送します。

《にぎわい振興事業》

(1)栄区民まつり(4,950千円)

栄区連合町内会をはじめ区内の各種団体により構成された栄区民まつり実行委員会に補助を行い、区民・地域が一体となって栄区民まつりを開催します。

(2)ほっとイルミネーション(730千円)

様々な団体と協力し、冬の本郷台駅前広場をイルミネーションで彩ります。

(3)商店街にぎわい創生事業(1,500千円)

区内商店街の知名度向上のため、商店街の位置や店舗を紹介するホームページを作成するとともに、商店街マップの改訂・増刷を行います。また、区内商店街の活性化につながる取組を検討し、地域の方と協力して行えるイベント等の実施を支援します。

【事業費の内訳】

細目事業名	本年度	前年度	差引	説明
S C 交通安全対策分科会	自 924	自 800	124	事業統合による増
スクールゾーン・自転車対策事業	自 826	自 700	126	事業統合による増
交通安全啓発活動	自 0	自 250	250	事業統合による減
防犯活動の推進・啓発活動	自 0	自 535	535	事業統合による減
S C 防犯対策分科会	自 1,439	自 431	1,008	事業統合による増
3 R 推進事業	自 347	自 353	6	実績に基づき、旅費の減
生ごみ等堆肥化事業	自 744	自 1,000	256	補助金想定件数の見直しによる減
自治会・町内会振興事業	自 1,760	自 2,043	283	実績に基づき、配送料の減
栄区民まつり	自 4,950	自 4,500	450	人件費及び消費税増額に伴う委託費の増
ほっとイルミネーション	自 730	自 700	30	人件費及び消費税増額に伴う委託費の増
商店街にぎわい創生事業	自 1,500	自 1,000	500	ホームページ作成に伴う委託費の増
事業費合計	13,220	12,312	908	
内 自主企画事業費	13,220	12,312	908	
内 重点事業	0	0	0	

【根拠とするデータ等】

栄区内交通事故発生件数(2011~2016年)、振り込め詐欺認知件数(平成28年:25件、平成29年:55件)、栄区ごみと資源の総量

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	地域活動 係
	根本 道夫	石塚 学	鵜池 健太郎



[ 栄区 地域振興課 ]

予算区分	文化・スポーツ・学習振興費	性質・課題区分	文化・スポーツ	事業開始年度	平成6年度
------	---------------	---------	---------	--------	-------

事業名	文化・芸術振興事業
-----	-----------

特記事項	中期計画-38の政策 中期計画-行政運営 中期計画-財政運営 重点事業 新規・拡充 温暖化対策関連事業
------	--

中期計画-38の政策	
政策番号	主な施策番号
5	3.5.7

事業評価書番号	6
事業評価書番号	

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳				一般財源
		国・県	諸収入			
本年度	5,431		145			5,286
前年度	6,277		135			6,142
増減	846	0	10	0	0	856

歳出	平成28年度	平成29年度	平成30年度
予 事業費	5,708	4,507	5,607
算 メリット+一般財源	5,573	4,372	5,472
決 事業費	5,409	4,551	5,593
算 メリット+一般財源	5,290	4,441	5,484

歳出	令和3年度	令和4年度
予 事業費	5,431	5,431
算 一般財源	5,431	5,431

方針に関する決裁 種別( )  
 有( )件名( )、日付( 年 月 日 )  
 無( )

事業の概要 (目的)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・友好交流都市である長野県栄村、青森県南部町及び山形県高島町との交流事業を支援し、都市間交流の促進を図ります。</li> <li>・「横浜市民の読書活動の推進に関する条例」及び「栄区読書活動推進目標」に基づき、栄区の地域性に合った読書活動を推進し、区民の読書環境の充実を図ります。</li> </ul>
------------	--

(説明)	
1 地域の課題等	<p>《友好交流都市事業》 友好交流都市が互いに持つ地域資源をいかし、交流をさらに活性化させ、栄区の魅力創出に繋がります。</p> <p>《読書活動推進事業》 子供の読書量の低下、大人の活字離れが進んでおり、子供の読書習慣の定着等、読書活動の推進が必要です。また、栄区は書店が少なく交通不便という課題があり、図書館や図書貸出施設を中心とした読書環境・ネットワークの充実が求められています。</p> <p>《文化・芸術振興関係事業》 人々の価値観が多様に変化する中で、これまで以上に生きがいや感動といった心の豊かさが求められています。人生を豊かにし、人々の創造性や感性を育むとともに、社会や経済に活力をもたらす源となる文化・芸術を振興することにより、人々に元気を与え、地域を活性化し、栄区の魅力あるまちづくりを推進していくことが必要です。</p>
地域課題等の収集手段	
2 運営方針等との関係	令和元年度栄区運営方針 1栄の魅力創出と発信によるにぎわいのあるまちづくり
3 根拠法令・要綱等	夏休みコンサート事業補助金交付要綱、栄区民芸術祭事業補助金交付要綱、横浜市民の読書活動の推進に関する条例

【実績の推移・今後見込み】						
	28年度実績	29年度実績	30年度実績	令和元年度見込み	令和2年度見込み	(単位：人)
友好交流都市	15	2,000	2,500	2,000	2,000	参加者+来場者
読書活動推進	180	110	360	170	170	読書イベント入場者
夏休みコンサート	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	参加者+来場者
夏休みコンサート	667	602	630	600	600	参加者+来場者
栄区民芸術祭	16,000	12,000	12,000	12,000	12,000	参加者+来場者
刊行物販売	28年度実績	29年度実績	30年度実績	令和元年度見込み	令和2年度見込み	
郷土史ハンドブック	120	107	124	100	150	
歴史散策マップ	138	205	176	300	250	
栄の歴史	138	114	110	150	150	

【実施内容】

《友好交流都市事業》（1,300千円）

栄区の友好交流都市について区民に広く周知するためPR物品を作成するとともに、友好交流都市の特徴を生かしたキャンドルライトアップ等のイベントを栄区内で実施することにより栄区民の交流への関心を高めます。

《栄の“歴史・文化”事業》（381千円）

栄区の歴史資産や文化資産を次世代に確実に引き継ぎ、区の魅力資源として活用・発信していくために、区内の関係団体とともに情報を共有し、今後の保存・継承につなげます。また、「郷土史ハンドブック・歴史散策マップ・栄の歴史」の販売に協力する書店等に販売手数料を交付します。そのほか、栄区民音頭を広く区民に周知するため動画を作成します。

《読書活動推進事業》（610千円）

「栄区読書活動推進目標」に掲げる、「誰もが読書情報を見られる」「読書したくなる環境がある」「読書ネットワークをつくる」を目指し、読書啓発イベントの開催、啓発物品の作成及び配布など、読書啓発事業を実施します。また、読書に親しむ環境づくりとして、図書館や図書貸出施設と連携した読書情報の提供、PRを行います。

《昼休みコンサート事業》（40千円）

区民が気軽に音楽に触れる機会を提供するとともに、区役所に親しみをもち、区行政や文化振興に興味を持っていただくことを目的に、栄区音楽協会の協力により庁舎内でコンサートを実施します。

《夏休みコンサート事業》（200千円）

夏休み期間に親子や家族など幅広い世代の区民を対象として、クラシック音楽に興味をもち、楽しんでいただけるような参加型のコンサートを開催します。

《栄区民芸術祭事業》（2,900千円）

区民の文化意識の高揚と文化活動及び地域コミュニティの活性化を図ることを目的に、区民を中心に構成される栄区文化協会が中心となって企画運営を行う区民芸術祭を開催します。

【事業費の内訳】

細目事業名	本年度	前年度	差引	説明
友好交流都市事業	自 1,300	自 1,500	200	実施手法見直しによる減
栄の“歴史・文化”事業	自 381	自 1,027	646	修繕件数の減による減
読書活動推進事業	自 610	自 600	10	事業に係る経費の計上
昼休みコンサート事業	自 40	自 50	10	在庫の見直しによる減
夏休みコンサート事業	自 200	自 200	0	
栄区民芸術祭事業	自 2,900	自 2,900	0	
事業費合計	5,431	6,277	846	
内 自主企画事業費	5,431	6,277	846	
内 重点事業	0	0	0	

【根拠とするデータ等】

《読書活動推進事業》 横浜市図書館2018（横浜市立図書館年報）

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	生涯学習支援 係
	根本 道夫	穴戸 史織	瀬川 理恵

No.	7
-----	---

[ 栄区 地域振興課 ]

予算区分	文化・スポーツ・学習振興費	性質・課題区分	文化・スポーツ	事業開始年度	平成6年度
------	---------------	---------	---------	--------	-------

事業名	スポーツ振興事業
-----	----------

特記事項	中期計画-38の政策 中期計画-行政運営 中期計画-財政運営 重点事業 新規・拡充 温暖化対策関連事業
------	--

中期計画-38の政策	
政策番号	主な施策番号
7	1,2

事業評価書番号	7
事業評価書番号	

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳				一般財源
		国・県	諸収入			
本年度	3,180					3,180
前年度	3,380					3,380
増減	200	0	0	0	0	200

歳出	平成28年度	平成29年度	平成30年度
予 算 事業費	4,071	2,783	2,378
メリット+一般財源	4,071	2,783	2,378
決 算 事業費	4,032	2,762	2,834
メリット+一般財源	4,032	2,762	2,834

歳出	令和3年度	令和4年度
予 算 事業費	3,180	3,180
一般財源	3,180	3,180

方針に関する決裁種別( )  
有:件名( )、日付( 年 月 )  
無

事業の概要(目的)	・スポーツ活動促進及び健康維持・増進を図るため、栄区民を対象としたスポーツ事業を支援します。 ・セーフコミュニティ都市として、課題解決に向けた先導的な事業に取り組みます。
-----------	--

(説明)

1 地域の課題等	・スポーツ振興を図る上では、地域における生涯スポーツの中心的な担い手である体育協会の専門部による日常的な生涯スポーツ振興の活動を支援することが必要です。また、これらの担い手と協働し、より多くの区民がスポーツを始めるためのきっかけづくりやスポーツを継続して行うための環境づくりなどに取り組む必要があります。 ・栄区が認証取得している「セーフコミュニティ」の取組の一分野として、スポーツにおける事故やけがを予防する具体的な対策を地域と協働して検討していく必要があります。
地域の課題等の収集手段	1 日常の窓口対応等    5 区民アンケート    7 関係団体からの要望
2 運営方針等との関係	・令和元年度栄区運営方針 1 栄の魅力創出と発信によるにぎわいのあるまちづくり 2 将来を見据えた持続可能なまちづくり ・栄区セーフコミュニティ活動を推進するための行動計画
3 根拠法令・要綱等	スポーツ基本法、スポーツ基本計画、栄区体育協会補助金交付要綱、栄区民ロードレース大会事業補助金交付要綱、栄区民スポーツフェスティバル補助金交付要綱、スポーツ安全対策分科会運営要綱

【実績の推移・今後見込み】

	28年度実績	29年度実績	30年度実績	令和元年度見込み	令和2年度見込み
栄区体育協会主催の区民大会・教室(参加人数:人)	21,494	21,269	14,506	16,000	16,000
栄区民ロードレース大会(参加人数:人)	1,253	1,404	1,329	1,400	1,400
栄区民スポーツフェスティバル(参加人数:人)	1,030	800	1,000	1,000	1,000
SCスポーツ安全対策分科会(開催回数:回)	3	3	2	2	3

【実施内容】

《栄区体育協会に対する活動補助事業》(315千円)

各種スポーツ種目の団体(専門部)ごとに開催される区民大会や区民教室等の開催を支援します。

【専門部 21団体】

剣道連盟、野球協会、バレーボール協会、卓球協会、テニス協会、ソフトテニス連盟、バドミントン協会、ソフトボール協会、弓道協会、体操協会、バスケットボール協会、ウォーキング協会、サッカー協会、少年野球連盟、ゲートボール連合、綱引連盟、ボウリング協会、車椅子ダンス協会、ターゲットバードゴルフ協会、ダンススポーツ連盟、パワーリフティング協会

様式3-1

《栄区民ロードレース大会》（1,970千円）

栄区内在住、在勤、在学、在スポーツクラブの者を対象に、4種類（小学生、中学生以上、高校生以上、シニア）のコースを設定したロードレースを行います。

日程：令和3年1月（予定）

場所：埋蔵文化財センター及び周辺道路（予定）

《栄区民スポーツフェスティバル》（115千円）

幼児から高齢者まで幅広い区民が気軽にスポーツを体験できるイベントの開催を支援します。

日程：令和2年11月（予定）

場所：栄スポーツセンター、本郷中学校

《SCスポーツ安全対策分科会》（780千円）

運動競技中の事故やけがを予防するため、区内スポーツ、青少年育成等の団体を構成員とした分科会を開催し、事故・けが予防の対策として、予防講習会（各構成団体主催、分科会主催）を実施します。

また、専門家によるスポーツ活動時のけが発生の因果関係の分析結果や、事業内容へのアドバイスを基に、事業を実施します。

【事業費の内訳】

細目事業名	本年度	前年度	差引	説明
栄区体育協会に対する活動補助事業	自 315	自 315	0	
栄区民ロードレース大会	自 1,970	自 1,950	20	現地等打ち合わせによる
栄区民スポーツフェスティバル	自 115	自 115	0	
SCスポーツ安全対策分科会	自 780	自 1,000	220	実施内容精査による減
事業費合計	3,180	3,380	200	
内 自主企画事業費	3,180	3,380	200	
内 重点事業	0	0	0	

【根拠とするデータ等】

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	生涯学習支援 係
	根本 道夫	穴戸 史織	山口 修平

No.	8
-----	---

[ 栄区 地域振興 課 ]

予算区分	地域コミュニティ費 地域コミュニティ費 子育て・子ども・青少年育成費	性質・ 課題区 分	国際交流 地域コミュニティ 青少年健全育成	事業開始年度	平成10年度
------	--	-----------------	-----------------------------	--------	--------

事業名
地域の人材育成支援事業

特記事項
中期計画-38の政策 中期計画-行政運営 中期計画-財政運営 重点事業 新規・拡充 温暖化対策関連事業

中期計画-38の政策	
政策番号	主な施策番号
6	2,3
33	1,2
29	1

事業評価 書番号	8
事業評価 書番号	

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳				一般財源
		国・県	諸収入			
本年度	3,713					3,713
前年度	4,860					4,860
増減	1,147	0	0	0	0	1,147

歳出	平成28年度	平成29年度	平成30年度
予 算 事業費	7,992	5,587	8,510
メリット+一般財源	7,992	5,587	8,510
決 算 事業費	5,485	5,517	8,203
メリット+一般財源	5,485	5,517	8,203

歳出	令和3年度	令和4年度
予 算 事業費	3,310	2,810
一般財源	3,310	2,810

方針に関する決裁 種別( )  
有:件名( )、日付( 年 月 日 )  
無

事業の概要 (目的)	<ul style="list-style-type: none"> <li>区民の力を活用した「おもてなし」を実践します。</li> <li>区民活動センターを中心に、区内で活動している地域活動・生涯学習活動団体を支援するとともに、新たな活動の担い手を発掘します。</li> <li>地域、団体等と連携・協働しながら、青少年の健全育成を目的に、各種事業を実施します。</li> </ul>
---------------	---

(説明)

1 地域の課題等	<p>《栄区ならではのおもてなし推進事業》 近年、外国人人口や定住化が進むとともに、観光・ビジネスを目的として来浜する外国人が増加しており、東京2020オリンピック・パラリンピック(以下、オリパラという。)に際しては、より一層の増加が見込まれています。栄区でもこの機会を逃すことなく、栄区の長所である区民の力・連携力を活用したこれら外国のお客様への「おもてなし」を実施することで、オリパラの機運醸成を図るとともに、区民の地域活動の活性化を促進する仕組みを作ることが必要です。</p> <p>《区民活動支援事業》 栄区では、幅広い世代の区民が地域において熱心に活動を行っており、自主的な市民活動が活発な地域です。多様な区民ニーズに対応するためには、行政のみならず区民との協働による課題解決が必要です。このため、様々な分野で活動する区民活動団体の活性化や継続的な団体運営を推進するための人材育成や団体支援等が求められています。</p> <p>《SAKAEヤングフェスティバル事業・栄区中学校対校駅伝大会》 昨今、少子化や地域のつながりの希薄化などによる社会環境の変化に伴い、青少年の自己肯定感が低くなっています。青少年が社会の一員として地域と主体的に関わりながら生活していくことができるよう、青少年による地域参加の機会を行政と地域が一体となって提供することが求められています。</p>
地域の課題等の収集手段	1 日常の窓口対応等    5 区民アンケート    7 関係団体からの要望
2 運営方針等との関係	令和元年度区政運営方針 1 栄の魅力創出と発信によるにぎわいのあるまちづくり
3 根拠法令・要綱等	<ul style="list-style-type: none"> <li>第3次横浜市生涯学習基本構想、市民協働条例、市民活動支援センター地域レベル展開ガイドライン、市民活動支援センター事業展開ガイドライン</li> <li>SAKAEヤングフェスティバル事業補助金交付要綱</li> <li>栄区中学校対校駅伝大会事業補助金交付要綱</li> </ul>

【実績の推移・今後見込み】

	28年度実績	29年度実績	30年度実績	元年度見込み	2年度見込み
さかえ区民活動センター利用者	21,364人	23,248人	19,407人	20,000人	20,000人
SAKAEヤングフェスティバル&栄区中学校対校駅伝大会来場者	約10,000人	約10,000人	約10,000人	約10,000人	約10,000人

【実施内容】

《栄区ならではのおもてなし推進事業》(1,010千円)  
平成30年度から取り組んでいる「栄区ならではのおもてなし」を、東京2020オリンピック・パラリンピック開催を契機に横浜を訪れる外国からのお客様に向け実践します。また、これまで積み重ねてきたスキルを2020年以降も発展させ生かしていくため、また、担い手のすそ野を広げるため、外国の方のおもてなしや多文化共生に関する講座等を実施します。

《区民活動支援事業》（893千円）

- (1) 区民活動センター広報紙の発行  
さかえ区民活動センターの広報紙「ぷらっと通信」を4,500部/回、年10回発行します。
- (2) パワーアップ講座の開催  
ア 団体支援講座・・・主に登録団体を対象とした課題解決のための講座  
イ 地域デビュー講座・・・これから活動を始めようとする人のきっかけづくりとなる講座
- (3) ぷらっとカフェ事業  
区民活動センターの認知度を上げ、地域活動や生涯学習活動を活性化するために、「ぷらっと栄」を拠点とした催しを年間を通じ定期的に開催します。
- (4) サロン事業の実施  
各種団体や区内施設と連携してサロンや講座を開催します。

《SAKAEヤングフェスティバル事業》（1,410千円）

区内中学生が青少年指導員とともに企画から準備し、中学生自身の演出によるステージ（吹奏楽、ダンス等）や模擬店等フェスティバル全体の運営を担い実施します。（実施時期：令和3年3月）

《栄区中学校対校駅伝大会》（400千円）

区内公立中学校7校による学校対抗駅伝大会を、駅前道路を使用して実施します。（実施時期：令和3年3月）  
なお、ヤングフェスティバルと中学校対校駅伝大会は、「中学生が主役の一日」として一体的に実施します。

【事業費の内訳】

細目事業名	本年度	前年度	差引	説明
栄区ならではのおもてなし推進事業	自 1,010	重 2,000	990	事業内容変更による減
区民活動支援事業	自 893	自 1,060	167	団体活用によりサロン開催経費を抑えることによる減
SAKAEヤングフェスティバル	自 1,410	自 1,400	10	早朝出勤による増
栄区中学校対校駅伝大会	自 400	自 400	0	
事業費合計	3,713	4,860	1,147	
内 自主企画事業費	3,713	4,860	1,147	
内 重点事業	0	2,000	2,000	

【根拠とするデータ等】

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	生涯学習支援 係
	根本 道夫	宍戸 史織	青木 ゆき子

予算区分	地域福祉保健推進費 地域福祉保健推進費 区役所総務費	性質・ 課題区分	その他福祉・保健・衛生 動物愛護・適正飼育 その他	事業開始年度	平成6年度
------	----------------------------------	-------------	---------------------------------	--------	-------

事業名
福祉保健の推進

特記事項
中期計画-38の政策
中期計画-行政運営
中期計画-財政運営
重点事業
新規・拡充
温暖化対策関連事業

中期計画-38の政策	
政策番号	主な施策番号
14	1
15	2
15	4
18	5
32	1
32	2
32	4
33	1
35	6

事業評価 書番号	9
事業評価 書番号	

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳				一般財源
		国・県	諸収入			
本年度	9,451					9,451
前年度	11,362					11,362
増減	1,911	0	0	0	0	1,911

歳出		平成28年度	平成29年度	平成30年度
予算	事業費	5,248	5,377	4,536
	メリット+一般財源	5,248	5,377	4,536
決算	事業費	4,292	4,073	4,026
	メリット+一般財源	4,292	4,073	4,026

歳出		令和3年度	令和4年度
予算	事業費	9,450	9,450
	一般財源	9,450	9,450
		方針に関する決裁 種別( ) 有:件名( )、日付( 年 月 ) (無)	

事業の概要 (目的)	<p>1 地域福祉保健計画推進事業 誰もが安心して自分らしく健やかに暮らせる地域づくりを目指し、地域住民、各種団体、区役所、区社会福祉協議会、地域ケアプラザが協働して、福祉保健を中心とした地域課題の解決に取り組む、第3期地域福祉保健計画の推進を図ります。また、第3期計画の振り返り、取組をもとに、課題の把握・整理をし、第4期計画(令和3年度～7年度)を策定します。</p> <p>2 「健康長寿 さ・か・え」推進事業 健康寿命の延伸を図ることを目指し、「低栄養を予防する」、「体力をつける」、「積極的な社会参加をする」の3つの視点からの取組を実施します。取組の推進にあたっては、地域が主体的に取り組むことができる仕組みづくりの支援を行います。</p> <p>3 災害時の対策 (1) 栄区防災計画に基づき、災害時に要援護者への安否確認・避難誘導が円滑に実施されるよう、地域福祉保健計画の推進を通して、日頃からの要援護者と地域との顔の見える関係づくりを支援します。 (2) 災害時において、関係機関(医師会、薬剤師会、歯科医師会、Yナース)の取組情報共有、連携を図り、災害時も区民へ医療が提供できるように取組を進めます。</p> <p>4 SC自殺予防対策分科会 セーフコミュニティ活動の一環として、栄区の自殺予防対策について検討・推進します。</p> <p>5 生活支援推進事業 (1) 生活困窮者を早期発見・支援するために、生活困窮セーフティネット強化事業を展開していきます。 (2) 生活保護受給者や生活困窮者の社会的自立を促進していくために、再チャレンジ応援事業を実施します。 (3) 外国人生活保護受給者等とのコミュニケーションを向上させるため、相談業務向上事業を実施します。</p> <p>6 健康で安全な食と暮らしの推進 区民の健康で安全な食と暮らしを推進していくため、衛生害虫対策や食中毒予防、ペットの適正飼育・防災対策の啓発事業を実施します。</p>
---------------	---

( 説 明 )				
1	地域の課題等	<p>1 地域福祉保健計画推進事業 第3期地域福祉保健計画の計画期間最終年にあたり、これまで取り組んできた活動を進めます。今後も継続する課題や顕在化が予想される課題に対して、取り組むべき内容を第4期計画としてまとめ、地域で共有していきます。</p> <p>2 「健康長寿 さ・か・え」推進事業 (1) 栄区は平成31年3月現在、高齢化率が30.8%と18区で最も高く、今後も人口減少・高齢化が進行し、2025年には高齢化率が32.7%まで上昇すると予測されています。 (2) 一方で、栄区は、人口に対する要介護認定者の割合は15.8%（平成31年3月）と18区で一番低く、元気な高齢者が多いと言えます。上記のように、今後も上昇し続ける高齢化率に対して、できるだけ長く元気に暮らしていただく、つまり、健康寿命をできるだけ長く伸ばしていくことが、区の大きな課題です。 (3) 最近の研究で、健康寿命を延伸させるためには、「体力維持」と「社会参加」のほかに、十分な栄養をとり、虚弱化を先送りすることが有効ということがわかっていますが、「虚弱予防」という視点からの取り組みはあまりされていません。</p> <p>3 災害時の対策 (1) 住民の高齢化、近隣関係の希薄化が進む中、日頃からの見守り・支えあいの取組の充実が災害時にも役立ち、災害時を想定した活動が日頃の地域のつながりにもなるという両面を意識して、地域の取組を進めていく必要があります。 (2) 発災時は、医療提供者も被災者となる中で、各団体の組織の中で、初期対応から継続対応ができるように調整が必要です。災害拠点病院が区内に無いことから、近隣区の拠点病院と連携を図る必要があります。</p> <p>4 SC自殺予防対策分科会 (1) 栄区の自殺死亡者数は増減を繰り返しながらも減少傾向にあります。しかし、1年間に18人（平成29年）の方が自殺により死亡しています。自殺による死亡者の減少のための自殺予防策の検討、悩みを抱えながら生きる方への相談支援について検討します。 (2) 平成30年度に策定された「横浜市自殺対策計画」の方針に基づいて、区でも検討します。</p> <p>5 生活支援推進事業 (1) 生活困窮者を広く発見し早期に支援につなげるために、生活困窮者自立支援制度の周知を継続するとともに、地域による支援を充実させるために地域ケアプラザ等の関係機関との連携を継続・強化していく必要があります。 (2) 生活困窮者の多くが外食中心（自炊しない）のため家計を圧迫している現状があり、節約するためには自炊習慣を身につけ、家計管理能力等の向上を促進していく必要があります。 (3) 生活保護受給者や生活困窮者の多くは、就職に向けての情報が無い・準備の仕方がわからない・面接のノウハウがないなど様々な課題を抱えています。就労を実現するため就労支援セミナーにおいて就職に向けての就職事情を把握し心構えや履歴書の書き方、面接スキル等を取得していく必要があります。また、若年者は困窮からの脱却のために今後のキャリアを考える機会が必要です。 (4) 今後増加が見込まれる外国人生活保護世帯や外国人相談者のための「不正受給にならないためのハンドブック」の外国版（英語・中国語）を作成する必要があります。また、同時に面談時等のコミュニケーションを向上させていくことも求められています。</p> <p>6 健康で安全な食と暮らしの推進 (1) 衛生害虫等に関する相談が多く寄せられていることから、正確でわかりやすい情報や啓発が必要です。 (2) 区民からの食の安全に関する関心は高く、正確な情報を迅速に提供する必要があります。また、ボランティア給食従事者、子ども・地域食堂従事者には食中毒防止について支援や啓発を行う必要があります。 (3) 飼い犬や飼い主のいない猫について、相談、苦情が多く寄せられています。 (4) 地域防災拠点におけるペット同行避難時の管理体制や飼育方法について、各地域防災拠点での検討を重ねていくことが重要です。</p>		
地域の課題等の収集手段	1 日常の窓口対応等	5 区民アンケート	4 地区懇談会	7 関係団体からの要望
2 運営方針等との関係	令和元年度 栄区運営方針目標達成に向けた施策2 将来を見据えた持続可能なまちづくり 施策3 福祉保健・健康づくりの推進による安全・安心のまちづくり			
3 根拠法令・要綱等	社会福祉法第107条、栄区地域福祉保健計画策定・推進会議運営要綱、自殺対策基本法、自殺総合対策大綱、栄区セーフコミュニティ推進協議会自殺予防対策分科会運営要綱、災害対策基本法、栄区災害時要援護者支援事業補助金交付要綱、生活保護法第4条及び第60条、就労可能な被保護者の就労及び求職状況の把握について（厚労省社会・援護局長通知）、「福祉から就労」支援事業の実施について（厚労省雇用均等・児童家庭・社会・援護局長連名通知）、平成17年度における自立支援プログラムの基本方針について（厚労省社会・援護局長通知）、生活困窮者自立支援法 感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律、食品衛生法、動物の愛護及び管理に関する法律、横浜市動物の愛護及び管理に関する法律			

【実績の推移・今後見込み】

		28年度実績	29年度実績	30年度実績	元年度見込み	2年度見込み	3年度見込み
地域福祉保健計画推進	地域福祉保健計画	第3期推進	第3期推進	第3期推進	第3期推進 第4期策定	第3期推進 第4期策定	第4期推進
	計画策定・推進・評価・検討	・行動計画策定 ・単年度評価の実施	・行動計画策定 ・中間評価方法検討 ・単年度評価の実施	・行動計画策定 ・中間振り返り ・単年度評価の実施	・行動計画策定 ・単年度評価の実施 ・ニース、課題把握 ・第4期骨子作成	・行動計画策定 ・第3期計画評価の実施 ・第4期計画策定	・行動計画策定 ・第4期計画周知 ・単年度評価の実施
	推進会議 / 部会の開催回数	1 / 0	1 / 3	2 / 1	3 / 0	3 / 0	2 / 0
	広報周知・フォーラム開催	・第3期計画冊子等 ・広報よこはま区版 ・地区別計画報告会	・第3期計画等増刷 ・つながる通信 ・さかえ・つながるフォーラム	・つながる通信 ・さかえ・つながるフォーラム	・つながる通信 ・さかえ・つながるフォーラム ・第4期計画方針、骨子	・つながる通信 ・さかえ・つながるフォーラム ・第4期計画素案意見募集	・第3期つながる通信 ・さかえ・つながるフォーラム
「健康長寿 さ・か・え」推進事業	啓発事業		検討	ロゴ作成 啓発物品配布 講演会	取組ツールの作成・健康状態実態調査の実施	取組ツール活用促進	取組ツール活用促進
	地域の取組推進		検討	講演会 研修会	講演会 地区での取組実施	健康実態調査結果を活用した取組	既存の活動を活かした取組推進
災害時の対策	栄区災害時要援護者支援事業補助金交付団体数	4団体	4団体	7団体	15団体	15団体	
	災害時要援護者支援説明会開催数・参加者数	7回 350人	10回 440人	7回 300人	10回 400人	10回 400人	
SC自殺予防分科会	SC分科会開催数	2回	2回	2回	2回	2回	2回
	再認証関連		事前指導	現地審査 認証式			
生活支援推進事業	自炊力アップ事業	6人	11人(2回)	16人(2回)	15人(2回)	15人(2回)	
	アウトリーチパートナー研修参加者	—	34人(1回)	346人(8回)	250人(6回)	150人(5回)	
	就労支援セミナー参加者	36人(8回)	26人(8回)	31人(8回)	25人(6回)	15人(2回)	
健康で安全な食と暮らしの推進	食品衛生出張講座開催数	18	23	19	20	20	20
	犬苦情等受付件数	67	56	44	45	45	45
	犬苦情等受付件数	67	56	44	45	45	45

【実施内容】

- 1 地域福祉保健計画推進事業 【3,116千円】  
 高齢者、障害者、子どもをはじめ、みんなが地域で支えあい暮らせるよう、地域、機関等と連携しながら第3期計画の取組を推進していきます。これまでの取組を土台に、さまざまな意見を集め、第4期計画を策定します。
  - (1) 会議開催 (235千円)  
 区地域福祉保健計画策定・推進会議 3回
  - (2) 計画の推進(598千円)  
 ア 第3期地域福祉保健計画推進のためのフォーラムの開催  
 イ 地区支援チーム員の地域支援スキルアップのための研修の実施  
 ウ 計画の推進や啓発として、「つながる通信」の発行
  - (3) 第4期計画策定(2,283千円)  
 栄区地域福祉保健計画策定・推進会議や地域での会議、各種団体へのヒアリングなどを通じて広く区民の意見を聞きながら、第4期計画を策定します。
- 2 「健康長寿 さ・か・え」推進事業 【1,951千円】
  - (1) 令和元年度に実施した健康状態実態調査の調査結果について、区民にフィードバックし、地域と協力しながら、調査結果を活用して健康寿命延伸に向け取り組んでいきます。
  - (2) 健康チェック測定会及び日常生活において気軽にできる取組などをアドバイスする講座を行い、区民の意識を高め、健康寿命延伸に向けた取組を促進していきます。
- 3 災害時の対策【1,185千円】
  - (1) 災害時要援護者避難支援事業 (850千円)  
 ア 各自治会・町内会の状況に応じた講座・相談対応等を行い、取組の広がりを推進します。  
 イ 区域全体に取組の必要性や理解が広がるよう、啓発のための講演会を実施します。  
 ウ 自治会・町内会が実施する避難支援訓練等の経費の一部を補助します。
  - (2) 災害時医療体制強化事業 (335千円)  
 ア 災害時医療連絡会  
 区内関係機関との発災時における医療連携体制を強化するため、情報共有等を目的とした連絡会を実施します。  
 イ 災害時医療体制整備  
 (ア) 発災時における情報を集約するため、関係区局、機関とのメール及び通信機器による通信訓練や、医療機関の開設状況に関するのぼり旗掲出訓練を開催します。  
 (イ) 医療調整班、医療救護隊及び保健活動グループにおいて、発災時を想定した研修を実施します。  
 (ウ) 災害時において医療活動を行うための資器材を整備します。
- 4 SC自殺予防対策分科会【127千円】  
 年度内に2回程度開催し、栄区内の自殺の現状や、各機関の取組について情報共有するとともに、自殺予防の検討をします。また、市の自殺対策計画に基づいて取組の検討を行います。

5 生活支援推進事業【984千円】

(1) 生活困窮セーフティネット強化事業（330千円）

ア 「栄区 お金と暮らしのアドバイスブック」（29年度配布開始）を増刷し、生活困窮者自立支援制度周知のため、さらに広く配布をしていきます。

イ 民生委員、地域ケアプラザ、福祉関係団体等のアウトリーチパートナーが制度内容をより理解し、生活困窮者を早期に発見し、地域で支援していけるようにするための外部講師による研修（年5回）を実施します。

ウ 生活保護受給者等が自炊能力を身につけ、習慣化できるよう調理体験教室（集合型）を実施（年2回）します。また、必要に応じて炊飯器の貸し出しも行っていきます。

(2) 再チャレンジ応援事業（304千円）

生活保護受給者や生活困窮者に対し、就労意欲の向上に向けて、心構え含め就職に向けて準備することや若年者のキャリア形成を考える機会をつくるため外部講師による就労支援セミナー（年2回）を対象者別に実施するとともに、スーツ等面接に必要なツールを随時貸し出します。

(3) 相談業務向上事業（350千円）

外国人生活保護世帯や外国人相談者とのコミュニケーションを向上させるため、既存のパンフレット「不正受給にならないためのハンドブック」の翻訳版（英語・中国語）を作成し、生活保護制度の説明を的確に伝え、外国人の債権等の発生の抑制につなげていきます。

6 健康で安全な食と暮らしの推進【2,088千円】

(1) 生活衛生普及啓発事業（305千円）

蚊媒介感染症の大規模な流行を未然に防ぐため、指定したモデル町内会の住民による地域ぐるみの蚊の発生源対策の取組を支援します。

(2) 食品衛生普及啓発事業（200千円）

高齢者や子ども等へ食事を提供しているボランティア団体に対し、出張講座の実施や簡易検査キットを利用した衛生教育を行います。

(3) 動物適正飼育推進事業（1,103千円）

講演会による飼い犬や猫の適正飼育啓発を実施するとともに、犬を長年にわたり飼育してきた飼い主を表彰し、他の飼い主の模範とすることにより広く動物愛護の意識を醸成します。また、マナーアップの啓発や防犯など地域の見守りを併せて行う飼い主を募集し犬との散歩の時間を活用した啓発を行います。

(4) ペットの防災対策事業（480千円）

希望する地域防災拠点にペット同行避難用テントを配付することにより、地域防災拠点におけるペット同行避難者の受け入れ体制の整備を促進します。

【事業費の内訳】

会議開催	自	235	自	235	0	
計画の推進	自	598	自	557	41	旅費計上、紙代高騰に伴う増
第4期計画策定	自	2,283	自	950	1,333	第4期計画策定に伴う増
「健康長寿 さ・か・え」推進事業	自	1,951	重	5,664	3,713	健康状態実態調査の終了による減
災害時要援護者避難支援事業	自	850	自	1,150	300	印刷製本費の減
災害時医療体制強化事業	自	335	自	445	110	必要購入物品の見直しによる減
SC自殺予防対策分科会	自	127	自	126	1	通信運搬費の増
生活困窮セーフティネット強化事業	自	330	自	247	83	外部講師による研修数増
再チャレンジ応援事業	自	304	自	634	330	参加対象者減少を踏まえたセミナー対象の見直しによる減
相談業務向上事業	自	350	自	0	350	新規事業
生活衛生普及事業	自	305	自	390	85	対象自治会の減
食品衛生普及事業	自	200	自	191	9	印刷費価格上昇による増
動物適正飼育事業	自	1,103	自	493	610	表彰対象の増、わんわんマナーアップ&パトロールのための増
ペット防災対策事業	自	480	自	280	200	地域防災拠点配布による増
事業費合計		9,451		11,362	1,911	
内 自主企画事業費		9,451		11,362	1,911	
内 重点事業		0		5,664	5,664	

【根拠とするデータ等】

栄区セーフコミュニティアンケート（30年度）、栄区民意識調査（平成29年度）、栄区民アンケート（26年度）、平成30年中の人口動態と平成31年1月1日現在の年齢別人口、大都市比較統計年表（平成29年度）

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	係
	福祉保健課長 林 千賀 生活衛生課長 古厩忠良 生活支援課長 村山一郎	事業企画担当係長 岩崎千里 生活衛生係長 渡辺 美波 事務係長 鶴岡 慎二朗	事業企画担当 後藤みどり、鈴木久美子、 兼清泉、藤森祐次 事務係 鶴岡 慎二朗

(様式3-1) 令和2年度事業計画書【自主企画事業費】

[ 栄区 福祉保健課 ]

No.	10
-----	----

予算区分	地域福祉保健推進費	性質・課題区分	健康づくり	事業開始年度	平成6年度
------	-----------	---------	-------	--------	-------

事業名
健康づくりと食育の推進事業

特記事項
中期計画-38の政策
中期計画-行政運営
中期計画-財政運営
重点事業
新規・拡充
温暖化対策関連事業

中期計画-38の政策	
政策番号	主な施策番号
15	1

事業評価書番号	10
事業評価書番号	

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳				一般財源
		国・県	諸収入			
本年度	1,863					1,863
前年度	2,525					2,525
増減	662	0	0	0	0	662

歳出	平成28年度	平成29年度	平成30年度
予 算 事業費	2,306	2,140	2,535
メリット+一般財源	2,306	2,140	2,535
決 算 事業費	2,038	1,902	2,353
メリット+一般財源	2,038	1,902	2,353

歳出	令和3年度	令和4年度
予 算 事業費	1,863	1,863
一般財源	1,863	1,863

方針に関する決裁 種別( )  
有:件名( )、日付( 年 月 )  
無

事業の概要 (目的)	運動や食育などの健康づくり意識の向上、特定健診やがん検診の受診率向上により、生活習慣病の予防に取り組み、区民の健康寿命が延伸することを目的とします。
------------	--

(説明)

1 地域の課題等

・健康寿命の延伸に向けて、運動や食生活などの健康増進の基本となる様々な分野から取り組み、早いうちからの生活習慣改善と生活習慣病の予防が重要ですが、特に若い世代は健康に興味を持つものの取組ままでに至らないことが多いことが課題です。  
 ・食生活では、働き・子育て世代において、野菜摂取量が少ない、3食バランスよく食べることへの関心が低い、朝食の欠食率が高いなどの課題があります。また、高齢者は3食とれていても主菜の欠食などで低栄養の傾向があるなど課題があります。  
 ・平成29年人口動態統計によると、区民の死亡総数に占める死因の構成比は生活習慣病が半数以上を占めており、予防として重要なメタボリックシンドロームの早期発見のため、特定健診の受診率向上が課題となっています。  
 ・平成29年人口動態統計によると、女性区民の悪性新生物による死亡の第3位は乳がん、第7位は子宮がんとなっていますが、横浜市乳がん検診受診率は18区中で2番目に、子宮がん検診は最も低く(平成30年度)、受診率の向上が課題となっています。

地域の課題等の収集手段	1 日常の窓口対応等	5 区民アンケート	8 その他
-------------	------------	-----------	-------

2 運営方針等との関係

令和元年度栄区運営方針 目標達成に向けた主な施策 3 福祉保健・健康づくりの推進

3 根拠法令・要綱等

【実績の推移・今後見込み】

横浜市乳がん検診、子宮がん検診の受診率

		25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	令和1年度目標
乳がん	栄区	13.0%	17.2%	18.7%	17.5%	17.3%	17.5%	21.0%
	横浜市	18.1%	20.5%	23.1%	21.6%	20.8%	20.0%	
子宮がん	栄区	16.3%	19.7%	20.9%	19.6%	19.4%	18.9%	24.5%
	横浜市	23.9%	27.6%	28.8%	26.3%	27.3%	27.1%	

乳がん検診の対象者は40歳以上、子宮がん検診の対象者は20歳以上

横浜市特定健診の受診率

		25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	令和1年度目標
特定健診	栄区	20.8%	21.9%	22.3%	21.3%	23.0%	24.9%	26.0%
	横浜市	20.4%	21.5%	21.9%	21.0%	23.0%	24.2%	30.5%

【実施内容】

1 健康づくりの推進 884千円

(1) がん対策推進事業 (228千円)

横浜市がん検診受診率が低く、女性区民の悪性新生物による死亡の第3位(女性特有のがんでは1位)の乳がん、子宮がんをはじめ、がん検診受診者の増、特に女性のがんの受診者の増を狙い、がんによる死亡数の減少を目指します。

ア 3歳児健診(月2回)の際に、乳がん触診モデルを活用したセルフチェック(自己触診)等の啓発や、リーフレット等を活用した啓発を行います。また、子育て世代である幼稚園保育園の保護者等に積極的に周知します。

<参加予定人数と回数> 3歳児健診:月2回、計1,000人

イ 子育て支援拠点、地域ケアプラザ、区役所窓口等で乳がん触診モデルと乳がんチェックシート、子宮がん検診チラシを活用して普及啓発を行います。

ウ 区役所で実施するがん検診等の待合で、上映ツールを利用して、健診の必要性について視聴覚教材で周知します。

エ 区民まつりや地域等からの健康講座依頼時において、乳がん触診モデルを活用したセルフチェック(自己触診)等の啓発や、リーフレット等を活用した啓発を行います。

オ 9月のがん征圧月間、3月の女性の健康週間において、図書館や区役所でパネル展示等を行います。

カ 女性特有のがんや、がん検診に関する正しい知識の普及のため、啓発を行います。また、関係機関とも連携し、普及啓発を実施します。

(2) 特定健診受診率向上 (220千円)

生活習慣病の予防として重要なメタボリックシンドロームの早期発見のため、関係機関と連携して特定健診受診率の向上を図り、生活習慣病の予防や重症化予防、死亡率の減少を目指します。(保険年金課と共管)

ア 関係機関(地域ケアプラザ)等において、引き続き、わかりやすい周知を行います。

イ 身近な場所、機会を利用し、健診の継続的な受診と活用について、啓発用物品を活用した普及啓発を行います。

(3) みんなで健康づくり推進事業 (436千円)

地域での健康づくりの機運を高めるために、関係機関や団体等と連携し、区民が参加しやすい区民まつりなどを活用して、健康づくり月間イベント等を行い、区民の幅広い世代に健康づくりについての普及啓発を図ります。

2 食育の推進 979千円

成人期で課題としている野菜摂取量の向上や朝食欠食率の改善、高齢期で課題としている低栄養を予防するために重要なバランスの良い食生活への改善など、食育の推進について、地域で活動する人材(食生活等改善推進員など)と連携して行います。また、子どもの時から生活習慣病になりにくいからだづくりを目指し、幼児期を含めた子どものバランスの良い食生活の定着を図ります。

(1) さかえの野菜めしあがれ! (245千円)

冊子「さかえの野菜めしあがれ!」のシニア向け版を作成し、高齢者層に向けた啓発を行います。また、食生活等改善推進員(ヘルスメイト)等と協働し啓発活動を行います。

(2) 元気なさかえっ子食育講座 (515千円)

食生活は、心身を育む上で不可欠な生活習慣であり、子どもの時の食生活は成人期以降の食生活や生活習慣病の発症リスクにも影響を与えます。そのため、幼児期からバランスの良い食生活の定着と、養育者の食生活の改善を図ります。

ア 幼児期からバランスの良い食生活を意識づけするため、オリジナルテキスト「食育はじめのいっぽ」(シールブック)を増刷し、オリジナルテキストを活用して、3歳児健診会場にて講師(管理栄養士)による講座を開催します。

<講座参加予定人数と回数> 3歳児健診:月2回、幼児本人と養育者 計900組  
(シールブック作成予定数:900部)

イ 子ども自らが食生活について楽しく学ぶために、3歳児健診用のマグネット式料理カードを追加作成します。

(3) 成人期の食育推進 (219千円)

成人期の食事バランスの見直しについて食生活の改善を促すため、栄養士を講師とした講座等を地域で開催し、啓発します。また、地域で活動する人材(食生活等改善推進員など)とも連携して地域活動でもシートを活用し、食育について周知を図ります。

【事業費の内訳】

細目事業名	本年度	前年度	差引	説明
がん対策推進事業	自 228	自 655	427	がん検診啓発リーフレット部数見直しによる減
特定健診受診率向上	自 220	自 200	20	啓発用クリアファイル作成による増
みんなで健康づくり推進事業	自 436	自 420	16	チラシの部数見直しによる増
さかえの野菜めしあがれ!	自 245	自 250	5	食育リーフレット委託終了による減
元気なさかえっ子食育講座	自 515	自 520	5	シールブック印刷数の変更による減
成人期の食育推進	自 219	自 480	261	食事見直しシート印刷終了による減
事業費合計	1,863	2,525	662	
内 自主企画事業費	1,863	2,525	662	
内 重点事業	0	0	0	

【根拠とするデータ等】

・平成30年度行政区別(受診者居住別)受診者数

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	健康づくり係
	林 千賀 福 渉一	窪田 陽子 後藤 雄一郎	長谷川 麻里子 照喜名 重明

(様式3-1) 令和2年度事業計画書【自主企画事業費】

No.	11
-----	----

[ 栄 区 高齢・障害支援 課 ]

予算区分	地域福祉保健推進費 地域福祉保健推進費 防犯・防災・安全対策費	性質・ 課題区分	高齢者 障害児・者 防災	事業開始年度	平成7年度
------	---------------------------------------	-------------	--------------------	--------	-------

事業名
高齢者・障害者支援事業

特記事項
中期計画-38の政策
中期計画-行政運営
中期計画-財政運営
重点事業
新規・拡充
温暖化対策関連事業

中期計画-38の政策	
政策番号	主な施策番号
5	4,5
16	1,4
35	6

事業評価 書番号	11
事業評価 書番号	

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳				一般財源
		国・県	諸収入			
本年度	15,220	0	8,075			7,145
前年度	15,180	0	7,613			7,567
増減	40	0	462	0	0	422

歳出	平成28年度	平成29年度	平成30年度
予 算 事業費	14,073	13,981	14,926
メリット+一般財源	6,026	5,934	7,159
決 算 事業費	13,268	13,146	15,208
メリット+一般財源	5,514	5,280	7,254

歳出	令和3年度	令和4年度
予 算 事業費	15,220	15,220
算 一般財源	7,145	7,145

方針に関する決裁 種別( )  
(特)「パラフェスタ・さかえ」開催に関する方針について、日付(30年5月)  
 無

事業の概要 (目的)	<p>【次世代交流ステーション】                  地域子育て支援拠点「にこりんく」、栄区青少年の地域活動拠点「フレンズ SAKAE」、放課後等デイサービス事業「ぴっころんど」、サポートセンター径相談支援室、後見的支援室「とんぼ」の適切な運営管理を行います。</p> <p>【福祉避難所開設・運営円滑化事業】                  発災時の福祉避難所の開設・運営にあたり区と福祉避難所等の連携を図り、また、課題の抽出・解決に向けた取組等の訓練や意見交換を行い、福祉避難所の運営を円滑に行うことを目的とします。</p> <p>【敬老お祝い事業】                  各自治会町内会や介護保険施設と連携し、高齢者の長寿を祝う気持ちを地域・施設とともに伝えていきます。</p> <p>【栄区高齢者地域ケア事業】                  [ 家族のための介護カウンセリング事業 ]                  家族が認知症や難病に罹患し、介護の不安を受け止めきれない介護者に対し、臨床心理士によるカウンセリングやアドバイスを実施し、介護者が不安や過度な負担から解放されることを目指します。</p> <p>[ セーフコミュニティ(SC)高齢者安全対策分科会 ]                  高齢者が住み慣れた地域で自分らしい生活が長く続けられるよう、安全・安心なまちづくりに向け、各種取組を推進します。とりわけ、高齢者の事故の約75%を占める「高齢者の転倒・転落」及び重症度の高い「ヒートショック」について、広く区民に危険性の周知・啓発を行うとともに、予防対策を講じてまいります。</p> <p>【障害児・者ふれあい交流事業】                  障害児・者が地域でいきいきと安心して暮らせるように、区民や関係機関と行事等を通じて交流を図り、障害児・者の理解を進めることを目的とします。</p>
---------------	---

(説明)

1 地域の課題等

【次世代交流ステーション】  
 ・次世代交流ステーションの各施設について、引き続き連携を図り、地域に根差した活動や利用者同士の交流が望まれます。

【福祉避難所開設・運営円滑化事業】  
 ・東日本大震災及び熊本地震の教訓を踏まえ、福祉避難所を円滑に開設・運営していくための訓練が重要です。  
 ・福祉避難所の開設・運営等に関しては依然として課題が多く、他市町村(特に被災地)にある施設の情報を共有したり、現場に即した意見交換などを通して、各施設の準備や取組につなげていくことが必要です。

【栄区高齢者地域ケア事業】  
 ・認知症や難病の方等を介護する家族は、心身の疲弊や社会からの孤立等、相当の介護負担を抱えていることから不適切な介護に陥りやすく、虐待のリスクも高くなります。介護の不安や負担感等を受け止めることにより日頃の負担を軽減し、継続的に適切な介護が行えるよう臨床心理士によるカウンセリングを実施します。  
 ・高齢になると身体機能の低下や認知症などにより様々な事故に遭うリスクが増加します。とりわけ高齢者の事故の約75%を占める転倒事故については高齢者の危険を脅かす大きな事由であることから、予防策について取組の推進が必要です。また、冬場の入浴事故については、重症度が高く、年間数件の死亡事故が報告されています。入浴事故の予防策を広く区民に周知し入浴事故を減らしていくための取組が必要です。

【障害児・者ふれあい交流事業】  
 ・「さかえ・ふれあい運動会」は、障害当事者と中学生とのふれあい交流を軸に25回を重ね、一定の成果をあげてきましたが、ボランティアの高齢化・団体の解散等による担い手の減少、中学生と実行委員会メンバーであるボランティア以外の地域の方の参加機会確保の困難性、などから、今後の事業のあり方を検討してきた結果、実行委員会での承認を経て昨年度で終了としました。令和元年度から、「パラフェスタ♥さかえ」を、障害者週間(12月上旬)PRのための区のイベントと位置づけます。区地域福祉保健計画のテーマ6「障害者が安心して暮らせる地域づくり」に向けて、引き続き普及啓発の取組が必要です。

地域の課題等の収集手段	1 日常の窓口対応等	3 地区担当制度	7 関係団体からの要望																					
2 運営方針等との関係	栄区まちづくり行動計画 テーマ4 地域コミュニティ・福祉・医療 第3期栄区地域福祉保健計画の推進 区政運営方針 地域ケアの推進 セーフコミュニティの推進 目標達成に向けた主な施策 地域防災力の向上																							
3 根拠法令・要綱等	介護保険法、老人福祉法、社会福祉法、高齢者虐待の防止・高齢者の要介護者に対する支援等に関する法律、災害対策基本法、横浜市震災対策条例、横浜市防災計画（震災対策編）、横浜市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画（第7期）、第3期横浜市障害者プラン、第3期栄区地域福祉計画、横浜型地域包括ケアシステムの構築に向けた栄区行動指針、栄区障害者ふれあい交流事業補助金交付要綱、栄区セーフコミュニティ推進協議会運営要綱、栄区傷害サーベイランス分科会運営要綱																							
<b>【実績の推移・今後見込み】</b> 4 栄区高齢者地域ケア事業 (1) 家族のための介護カウンセリング事業																								
<table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>29年度実績</th> <th>30年度実績</th> <th>元年度見込</th> <th>2年度見込</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>実施回数</td> <td>18</td> <td>17</td> <td>18</td> <td>18</td> </tr> </tbody> </table>					年度	29年度実績	30年度実績	元年度見込	2年度見込	実施回数	18	17	18	18										
年度	29年度実績	30年度実績	元年度見込	2年度見込																				
実施回数	18	17	18	18																				
(2) S C 高齢者安全対策分科会 ア 転倒・転落予防対策（転倒予防体操に取り組んだ人の数）																								
<table border="1"> <thead> <tr> <th>29年度実績</th> <th>30年度</th> <th>元年度見込</th> <th>2年度見込</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>8,846</td> <td>16,336</td> <td>16,500</td> <td>16,500</td> </tr> </tbody> </table>					29年度実績	30年度	元年度見込	2年度見込	8,846	16,336	16,500	16,500												
29年度実績	30年度	元年度見込	2年度見込																					
8,846	16,336	16,500	16,500																					
イ ヒートショック予防対策（ヒートショック対策をしている人の割合）																								
<table border="1"> <thead> <tr> <th>29年度実績</th> <th>30年度</th> <th>元年度見込</th> <th>2年度見込</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>89%</td> <td>90%</td> <td>90%</td> <td>90%</td> </tr> </tbody> </table>					29年度実績	30年度	元年度見込	2年度見込	89%	90%	90%	90%												
29年度実績	30年度	元年度見込	2年度見込																					
89%	90%	90%	90%																					
ウ S C 高齢者安全対策分科会（実務者会議を含む）開催回数																								
<table border="1"> <thead> <tr> <th>29年度実績</th> <th>30年度実績</th> <th>元年度見込</th> <th>2年度見込</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>5</td> <td>5</td> <td>3</td> <td>3</td> </tr> </tbody> </table>					29年度実績	30年度実績	元年度見込	2年度見込	5	5	3	3												
29年度実績	30年度実績	元年度見込	2年度見込																					
5	5	3	3																					
5 障害児・者ふれあい交流事業 (1) パラフェスタ♥さかえ																								
<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>29年度実績</th> <th>30年度実績</th> <th>元年度見込</th> <th>2年度見込</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>開催日数</td> <td>8日間</td> <td>4日間</td> <td>4日間</td> <td>4日間</td> </tr> <tr> <td>来場者</td> <td>2,000人</td> <td>1,000人</td> <td>1,000人</td> <td>1,000人</td> </tr> <tr> <td>参加者</td> <td>1,000人</td> <td>1,000人</td> <td>1,000人</td> <td>1,000人</td> </tr> </tbody> </table>						29年度実績	30年度実績	元年度見込	2年度見込	開催日数	8日間	4日間	4日間	4日間	来場者	2,000人	1,000人	1,000人	1,000人	参加者	1,000人	1,000人	1,000人	1,000人
	29年度実績	30年度実績	元年度見込	2年度見込																				
開催日数	8日間	4日間	4日間	4日間																				
来場者	2,000人	1,000人	1,000人	1,000人																				
参加者	1,000人	1,000人	1,000人	1,000人																				
<b>【実施内容】</b> 1 次世代交流ステーション (10,911千円) 次世代交流ステーションの管理運営費を支出します。																								
2 福祉避難所開設・運営円滑化事業 (813千円) 熊本地震の際、福祉避難所に一般避難者が押しかけたため機能しなかったという事象を踏まえ、地域住民に福祉避難所の機能と役割を周知することで、平常時から対応を図ります。 区と各福祉避難所が連携して、連絡会や開設・運営等訓練を実施します。開設・運営等訓練に係る物品として段ボールベッドを各施設に1個配付するとともに、訓練に資する物品を支給します。																								
3 敬老お祝い事業 (358千円) 各地域で開催している敬老会等でお祝いの対象としている高齢者に対して、長寿をお祝いするメッセージカードをお配りできるよう、各自治会町内会等にカードを配付します。また、100歳に到達する方に長寿と誕生日を祝うカードを送ります。併せて、介護保険施設に区長が訪問し、100歳以上の高齢者の長寿をお祝いするとともに、各施設職員の日頃の労をねぎらいます。																								
4 栄区高齢者地域ケア事業 (1) 家族のための介護カウンセリング事業 (450千円)																								
ア 内容 認知症や難病等、要介護者を介護している家族に対し、臨床心理士が介護不安を解消するための専門相談を実施します。																								
イ 対象者 おおむね65歳以上で、現に介護をされており、不安や心配がある区民																								
ウ 実施回数 18回/年実施																								
エ 実施会場 区役所																								
(2) S C 高齢者安全対策分科会 (389千円)																								
ア 高齢者の転倒・転落予防について、リーフレットを用い転倒予防体操の普及啓発を行います。支援者向けの転倒予防講座を実施し、身近な地域への普及を推進します。																								
イ 冬場の入浴事故防止対策（ヒートショック予防）の啓発を行い、不慮の溺死・溺水事故を予防します。リーフレットやポスター等を使用しきめ細かく、効果的な啓発を行います。																								
ウ 高齢者安全対策分科会 分科会を開催し、セーフコミュニティの「高齢者安全対策」の推進を図ります。																								
5 障害児・者ふれあい交流事業 (1) パラフェスタ♥さかえ (1,200千円) 区民が、障害者と対等の立場で障害者への理解と共感を深めるため、障害の有無に関わらずその場にいる人々が交流し、障害児・者が積極的な参加と自己表現ができるようなイベントを、関係機関と協働して開催します。																								
(2) 栄区障害理解推進事業（「区自立支援協との連携」を） (1,099千円) 区内障害福祉事業所による花のデリバリー委託を拡充し、区役所窓口環境の向上を図るとともに、障害者の社会参加を区障害者自立支援協議会と協働して支援します。また、30年度作成の障害福祉事業所紹介冊子を活用し、事業参加者への記念品としてリーフレットを作成します。																								

【事業費の内訳】

細目事業名	本年度	前年度	差引	説明
次世代交流ステーション	自 10,911	自 10,406	505	増税及び実績に基づく増
福祉避難所開設・運営円滑化事業	自 813	自 1,210	397	HUGカード作成完了による減
敬老お祝い事業	自 358	自 358	0	
栄区地域ネットワーク見守り事業	自 0	自 100	100	区配対応による減
家族のための介護カウンセリング事業	自 450	自 450	0	
SC高齢者安全対策分科会	自 389	自 350	39	研修会開催による増
さかえ・ふれあい運動会	自 0	自 1,000	1,000	事業終了
パラフェスタ♥さかえ	自 1,200	自 930	270	実施方法変更による増
栄区障害理解推進事業	自 1,099	自 376	723	花のデリバリー委託、リーフレット作成による増
事業費合計	15,220	15,180	40	
内 自主企画事業費	15,220	15,180	40	
内 重点事業	0	0	0	

【根拠とするデータ等】

栄区高齢化率、要介護認定率

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	高齢・障害 係
	角田 恭子	長戸 泰弘 市川 絹子 中嶋 理恵 小出 創 山崎 由佳	一澤 信春



(様式3-1) 令和2年度事業計画書【自主企画事業費】

No. 12

[ 栄区 こども家庭支援課 ]

予算区分	子育て・子ども・青少年育成費 地域福祉保健推進費	性質・ 課題区 分	子育て支援 障害児・者	事業開始年度	平成10年度
------	-----------------------------	-----------------	----------------	--------	--------

事業名
健やか子育て応援事業

特記事項
中期計画-38の政策
中期計画-行政運営
中期計画-財政運営
重点事業
新規・拡充
温暖化対策関連事業

中期計画-38の政策	
政策番号	主な施策番号
23	3
30	1
31	3

事業評価 書番号	12
事業評価 書番号	

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳				一般財源
		国・県	諸収入			
本年度	2,831					2,831
前年度	2,792					2,792
増減	39	0	0	0	0	39

歳出	平成28年度	平成29年度	平成30年度
予 算 事業費	4,699	3,581	2,746
メリット+一般財源	4,699	3,581	2,746
決 算 事業費	3,554	2,606	2,709
メリット+一般財源	3,554	2,606	2,709

歳出	令和3年度	令和4年度
予 算 事業費	2,831	2,831
算 一般財源	2,831	2,831

方針に関する決裁 種別( )  
有:件名( )、日付( 年 月 )  
無

事業の概要 (目的)	栄区で安心して子どもを産み育てられるよう、妊娠・出産・子育てに関する情報発信や、妊娠中から産後の不安定な時期に必要な支援が受けられる相談体制の充実を図ります。また、養育者の不安解消と子どもたちの健全育成のために、育児不安や子育ての悩みや困難を抱える親に寄り添う支援の充実を図り、妊娠期から乳幼児期までの切れ目のない子育て支援を行います。また、障害のある子どもの育ちを支え、障害のある子どもとその家族が安心して生活できるような支援を行います。
---------------	--

(説明)

1 地域の課題等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・栄区の出生数は平成24年で1,001人、平成28年で821人と年々減少し、少子化が急速に進展しています。そのため、子育てをする母親同士が交流する機会が減っており、身近な地域のなかで子育て中の養育者同士の仲間づくりができる環境を推進していく必要があります。</li> <li>・少子化の進行により、実生活のなかで乳幼児に接する機会が減っており、自分の子どもが生まれる前に赤ちゃんの世話の経験がないまま親になる人も多く、子育てに自信をもてず、不安を感じる母親が多く存在しています。そのため、妊娠中から子育てに関する分かりやすい情報提供や教室等の開催により、母親の不安を解消できるような支援が必要です。また、次世代(小中学生)に向け、赤ちゃんや子育てしている親と接する体験等の機会をつくり、交流することにより、他人を思いやる心などの豊かな人間性を育むとともに、家族と家庭の役割を学び、命の大切さについて考える機会が必要だと考えられます。</li> <li>・栄区の児童虐待対応件数は年々増加傾向にあり、虐待者の割合は実母が約7割を占めています。また虐待年齢別割合は未就学が約半数を占めており、乳幼児をもつ親に対する支援や、児童虐待の早期発見・支援のための身近な地域での見守りや子育て支援が重要です。</li> <li>・放課後等デイサービス事業者数が年々増加しており、障害のある子どもを取り巻く状況はここ数年で大きく変化しています。また障害のある子どもと家族の支援のニーズも多様化しています。障害のある子どもとその家族が地域で見守られながら安定した生活を送れるような地域社会の実現に向けた取り組みが求められています。</li> </ul>
----------	--

地域の課題等の収集手段	1 日常の窓口対応等	8 その他
-------------	------------	-------

2 運営方針等との関係	<p>【令和元年度栄区運営方針】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>2 将来を見据えた持続可能なまちづくり</li> <li>セーフコミュニティ児童虐待予防対策分科会</li> <li>福祉保健・健康づくりの推進による安全・安心のまちづくり</li> </ol> <p>未来をになう子どもたちを健やかに育むための取組を推進します 養育者の不安解消や仲間づくりを支援するため情報発信や教室の開催</p> <p>【第3期栄区地域福祉保健計画 さかえ・つながるプラン】</p> <p>テーマ3 地域が支える出産・子育てから青年期までの切れ目のない支援 テーマ6 障害者が安心して暮らせる地域づくり</p>
-------------	---

3 根拠法令・要綱等	母子保健法、児童福祉法、発達障害者支援法、児童虐待の防止等に関する法律等
------------	--------------------------------------

【実績の推移・今後見込み】

養育者支援・育児の仲間づくり		28年度実績	29年度実績	30年度実績	R元年度見込	R2年度見込
両親教室	参加組数	129	125	94	140	140
地域育児教室	参加組数	1,299	1,316	1,252	1,700	1,700

周産期メンタルヘルス事業		28年度実績	29年度実績	30年度実績	R元年度見込	R2年度見込
授乳相談	利用組数	160	88	39	50	50
妊婦・養育者メンタルヘルス相談	利用者数	50	54	56	80	80
育児応援教室	参加組数	41	30	44	90	90

【実施内容】

- 1 養育者支援事業
  - (1) 両親教室 (224千円)  
初めての出産を控えた妊婦とそのパートナーを対象に土曜日に両親教室を開催します。先輩ママパパを講師に招き、プレママプレパパとの交流を図り、出産後の生活についてイメージを持てるようにします。(年4回)
  - (2) SC児童虐待予防対策分科会(180千円)  
さかえっ子の笑顔ひろげ隊(栄区セーフコミュニティ児童虐待予防対策分科会)の取組として、地域向けの児童虐待予防啓発活動や、次世代交流として中学生と乳児及び子育て中の母親との交流を行い、次世代を担う子どもたちの育成をします。また、児童虐待対応のスキルアップを目的に職員向け研修を実施します。
  - (3) 養育者向け情報発信 (945千円)  
父親の積極的な育児参加を促進するため、「パパの子育てノート(父子手帳)」の作成及び配布(1,100部)及び地域の子育て情報誌の作成及び配布(2,000部)を行います。
- 2 育児の仲間づくり 地域育児教室 (601千円)  
地域ケアプラザ等7会場で月1回、第1子の養育者と乳児を対象に教室を開催し、養育者同士の交流や仲間づくり、子育てに関する健康教育を行います。(7会場、月1回開催、年84回開催)
- 3 障害児支援事業 障害児サークル支援 (24千円)  
ダウン症児を中心とした障害児の親の自主サークルに対して、講師派遣、運営相談等の支援を行います。(年3回講師派遣)
- 4 周産期メンタルヘルス事業
  - (1) 授乳相談 (120千円)  
授乳に関する様々な相談に応じ、育児不安の早期解消を図ります。(月1回、年12回開催)
  - (2) 妊婦・養育者メンタルヘルス相談(478千円)  
妊娠や出産、人間関係等の様々な悩みを抱える妊婦や育児不安、育てにくさを感じる養育者等を対象に、臨床心理士による個別相談を実施します。  
必要に応じて、訪問による相談にも対応します。(月2回、年24回開催)
  - (3) 育児応援教室(259千円)  
産婦健康診査、母子訪問等から把握された育児不安や子育て等に悩みを抱える母親に対して、母子で参加できる少人数の教室を開催します。臨床心理士が教室のファシリテーター役を担い、当事者同士の語らいのなかで悩みの解消を図ります。  
また保健師や保育士による育児のアドバイスや助言を行います。(月1回、年12回開催)

【事業費の内訳】

細目事業名	本年度	前年度	差引	説明
両親教室	自 224	自 224	0	
SC児童虐待予防対策分科会	自 180	自 270	90	啓発物品検討による減
養育者向け情報発信	自 945	自 887	58	消費増税に伴う増、デザイン変更箇所数に伴い増、新規事業による増
地域育児教室	自 601	自 530	71	助産師の追加による増、旅費の計上による増
障害児サークル支援	自 24	自 24	0	
授乳相談	自 120	自 120	0	
妊婦・養育者メンタルヘルス相談	自 478	自 478	0	
育児応援教室	自 259	自 259	0	
事業費合計	2,831	2,792	39	
内 自主企画事業費	2,831	2,792	39	
内 重点事業	0	0	0	

【根拠とするデータ等】

横浜市人口動態調査・出生数(28年度)、横浜市子ども・子育て支援事業計画の策定に向けた利用ニーズ把握のための調査(25年度)、横浜市児童虐待対応件数(29年度)

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	こども家庭係
	佐藤 一	広瀬 達也 山田 和哉	大嵩 彩華

(様式3-1) 令和2年度 事業計画書【自主企画事業費】

No. 13

[ 栄 区 子ども家庭支援 課 ]

予算区分	区役所総務費 子育て・子ども・青少年育成費	性質・ 課題区 分	その他 子育て支援	事業開始年度	平成10年度
------	--------------------------	-----------------	--------------	--------	--------

事業名
子ども・青少年応援事業

特記事項
中期計画-38の政策
中期計画-行政運営
中期計画-財政運営
重点事業
新規・拡充
温暖化対策関連事業

中期計画-38の政策	
政策番号	主な施策番号
23	4

事業評価 書番号	13
事業評価 書番号	

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳				一般財源
		国・県	諸収入			
本年度	2,472		5			2,467
前年度	2,810		10			2,800
増減	338	0	5	0	0	333

歳出	平成28年度	平成29年度	平成30年度
予 事業費	2,965	2,895	2,311
算 メリット+一般財源	2,933	2,863	2,301
決 事業費	2,146	1,965	2,231
算 メリット+一般財源	2,139	1,956	2,226

歳出	令和3年度	令和4年度
予 事業費	2,472	2,472
算 一般財源	2,467	2,467

方針に関する決裁 種別( )  
有:件名( )、日付( 年 月 )  
無

事業の概要 (目的)	<p>区内の教育・保育施設の職員へ対して研修を行い、スキルアップ・質の向上を図ります。 市立保育園において実施している「地域に向いた子育て支援」について、地域に密着し、更なる充実を図ります。 乳幼児から学齢期までの子どもの事故予防、けが予防を目的に、安全・安心に関する取組を推進します。 また、スポーツ・文化の分野において、顕著な功績又は優秀な成績を収めた児童・生徒を対象に、その功績を称えることを目的として、区長による表彰を行います。</p>
---------------	--

(説明)

1 地域の課題等

- ・教育・保育施設において、質の向上を目指して更なるスキルアップ(研修)を図る必要があります。
- ・市立保育園において「地域に向いた子育て支援」を実施していますが、更なる利用者を目指すため活動のPRを行う必要があります。
- ・乳幼児期から学齢期まで、子どもたちが地域社会の中で健やかに成長するためには、養育者、地域、学校、行政機関等が連携して、見守りや関わりを継続的に行っていく必要があります。

地域の課題等の収集手段	1 日常の窓口対応等	3 地区担当制度	5 区民アンケート
-------------	------------	----------	-----------

2 運営方針等との関係	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和元年度栄区運営方針</li> <li>2 将来を見据えた持続可能なまちづくり</li> <li>3 福祉保健・健康づくりの推進による安全・安心のまちづくり</li> <li>・第3期栄区地域福祉保健計画【第2章 第3期「さかえ・つながるプラン」区計画テーマ3】</li> <li>・栄区セーフコミュニティ活動を推進するための行動計画 1 こどもの安全</li> </ul>
-------------	--

3 根拠法令・要綱等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・さかえ・つながるプラン</li> <li>・栄区防災計画</li> <li>・子ども・子育て支援事業計画</li> <li>・栄区児童生徒スポーツ・文化活動表彰要綱</li> </ul>
------------	---

【実績の推移・今後見込み】

教育・保育スキルアップ研修

	28年度実績	29年度実績	30年度実績	令和元年度見込み	令和2年度見込み
実施回数	7回	6回	1回	1回	1回
参加者(のべ人数)	192人	191人	61人	70人	80人

30年度から局予算対応になる研修があるため回数減

栄区児童生徒スポーツ・文化活動表彰

	28年度実績	29年度実績	30年度実績	令和元年度見込み	令和2年度見込み
件数	27	28	37	35	35

個人及び団体

【実施内容】

- 1 幼保による地域子育て支援事業（762千円）
  - (1) 防災研修、栄区の自然を活かした研修を実施します。
  - (2) 地域の子育て支援の内容の充実を図り、子育て支援に必要な保育教材等をそろえます。
- 2 SC子ども安全対策分科会（1,560千円）
 

セーフコミュニティ子ども安全対策分科会の活動を通じて、乳幼児の事故予防、児童のけが予防を目的とした訪問運動指導やKYT（危険予知トレーニング）など、子どもたちの安全・安心に関する取組を推進します。

また、子育て世代のセーフコミュニティ認知度を上げるため、セーフコミュニティの活動内容等を掲載した連絡帳を作成し、区内小学校に配布します。
- 3 栄区児童生徒スポーツ・文化活動表彰（150千円）
 

スポーツ・文化の分野において、顕著な功績又は優秀な成績を収めた児童・生徒を対象に、その功績を称えることを目的として、区長による表彰を行います。

【事業費の内訳】

細目事業名	本年度	前年度	差引	説明
幼保による地域子育て支援事業	自 762	自 641	121	のぼり旗等作成による増
市立保育園の菜園再整備事業	自 0	自 1,000	1,000	事業終了
SC子ども安全対策分科会	自 1,560	自 1,039	521	SC連絡帳作成による増
栄区児童生徒スポーツ・文化活動表彰	自 150	自 130	20	表彰対象者の増加に伴う増
<b>事業費合計</b>	<b>2,472</b>	<b>2,810</b>	<b>338</b>	
内 自主企画事業費	2,472	2,810	338	
内 重点事業	0	0	0	

【根拠とするデータ等】

世代間交流実績（平成29年度）、防災研修実績（平成29年度）、緑被率（平成26年度）、栄区内の保育園、幼稚園、小学校、中学校、高等学校、放課後キッズクラブ、はまっ子、児童クラブ、子ども会等子どもと関わりのある団体・施設数（令和元年度時点）

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	こども家庭係
	大谷地 久美子 角野 智美	細井 沙友里 久保田 由紀	大嵩 彩華